



第2章 白浜町の現状と課題

1 白浜町の概況

(1) 広域的な位置づけ

白浜町は、紀伊半島の南西部、和歌山県の海岸線に位置しています。西牟婁郡に属し、紀南地域の中心都市である田辺市に隣接しています。

町の総面積は 200.98 km²で、和歌山県全域面積 (4,725km²) の約4.3%を占めています。

■広域的な位置づけ



(2) 歴史的条件

①市町村合併等

白浜町では、平成18年3月1日に旧白浜町、旧日置川町の2町が合併し、現在の白浜町が誕生しています。

また、平成23年3月に策定した「白浜町都市計画マスタープラン」に基づき、平成27年度には白浜準都市計画区域を指定しました。

■市町村合併の経緯

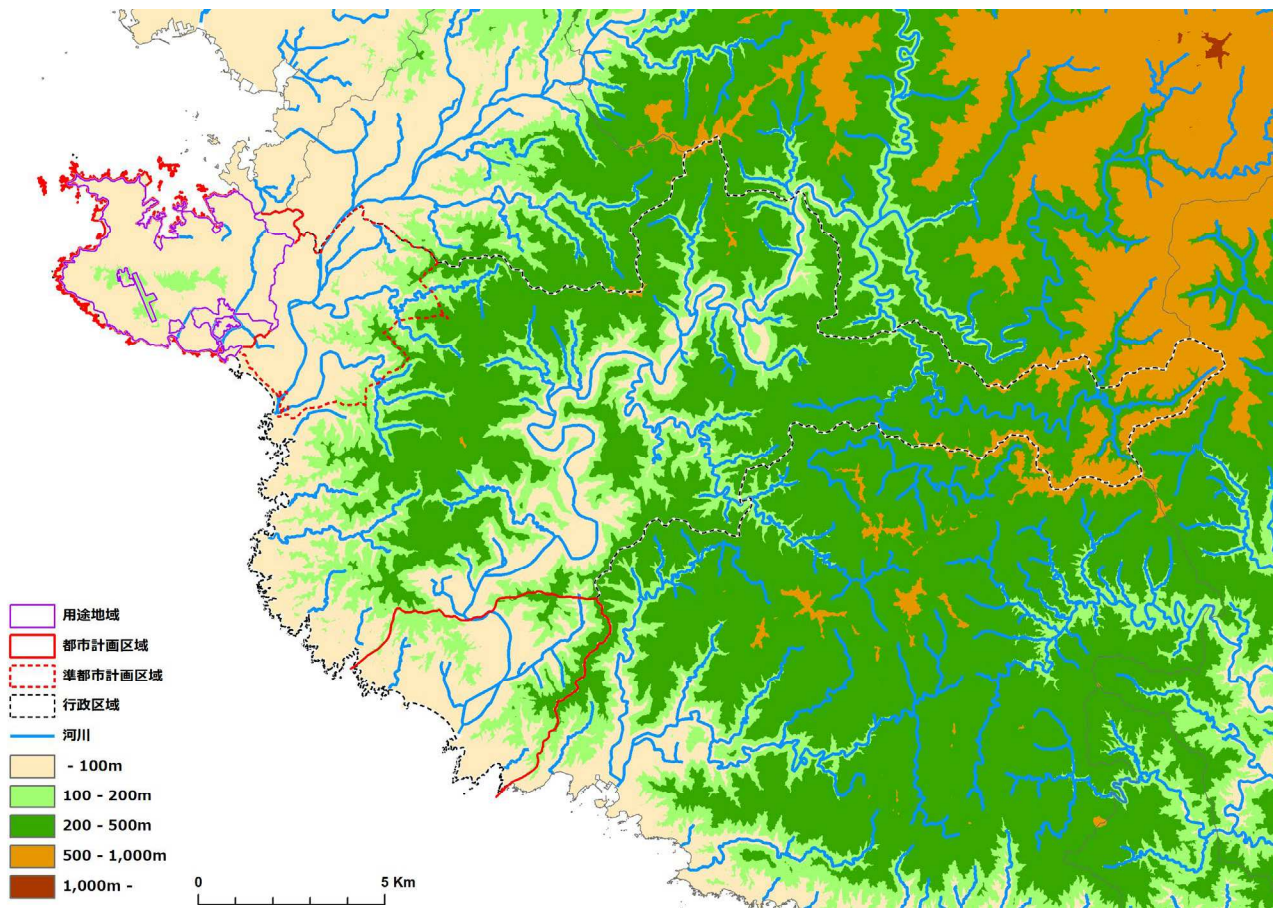


(3) 自然的条件

①地形

白浜町は大きく紀伊水道に面した半島地域、富田川下流域及び日置川流域に分かれています。北西の半島部に市街地が形成され、海岸地域まで山地がせまった南部では、海岸、河川流域、谷間部に集落が点在しています。町域全体の約81%が森林であり、吉野熊野国立公園、日置川県立自然公園があるなど、海・山・川にわたる豊かな自然環境に恵まれています。

■白浜町の地形・水系



資料:国土数値情報

②自然災害等

これまで、富田川、日置川の沿岸地域を中心に多くの水害に見舞われてきました。

また、近い将来、高い確率で発生が予想される南海トラフを震源とした地震により甚大な被害が危惧されており、住民や観光客の生命を守るための対策が進められています。

近年では、全国的に度重なる豪雨災害により甚大な被害が発生しています。また、和歌山県内でも、平成23年の台風12号（紀伊半島大水害）により甚大な被害が発生しました。そのため、災害リスクの高い区域における都市的土地利用を抑制するとともに、災害リスクの低い区域へ居住を誘導するなど、災害に強い都市構造の形成が喫緊の課題となっています。

■台風被害

年月	名称	住家等被害(戸)					人的被害(人)					備考
		床下浸水	床上浸水	半壊・一部損壊	全壊・流失	計	死者	重傷者	軽傷者	行方不明者	計	
昭和9年9月	室戸台風	2,565	1,600	2,602	2,745	9,512	31	434		6	471	県下の被害
昭和25年9月	ジェーン台風	140	200	630	79	1,049	0	5	22	0	27	
昭和33年8月	台風17号	2,609	2,322	483	139	5,553	2	29		2	33	県下の被害
昭和34年9月	伊勢湾台風	89	12	5	1	107	0	0	1	0	1	
昭和36年9月	第2室戸台風	0	124	100	73	297	1	12	15	0	28	
平成2年9月	台風19号	白浜町173、日置川町29		0	0	202	0	0	0	0	0	
	台風20号	159	39	0	0	198	0	0	0	0	0	
平成23年8月	台風12号	109	158	27	0	294	0	0	0	0	0	
		3,149	2,706	1,753	240	7,848	56	8		5	69	県下の被害

資料:白浜町地域防災計画(基本計画編)

■豪雨被害

年月	名称	住家等被害(戸)					人的被害(人)					備考
		床下浸水	床上浸水	半壊・一部損壊	全壊・流失	計	死者	重傷者	軽傷者	行方不明者	計	
昭和28年7月	豪雨	0	12,734	1,678	7,105	21,517	615	5,709		431	6,755	県下の被害
昭和63年9月	豪雨	137	36	0	0	173	0	0	0	0	0	

資料:白浜町地域防災計画(基本計画編)

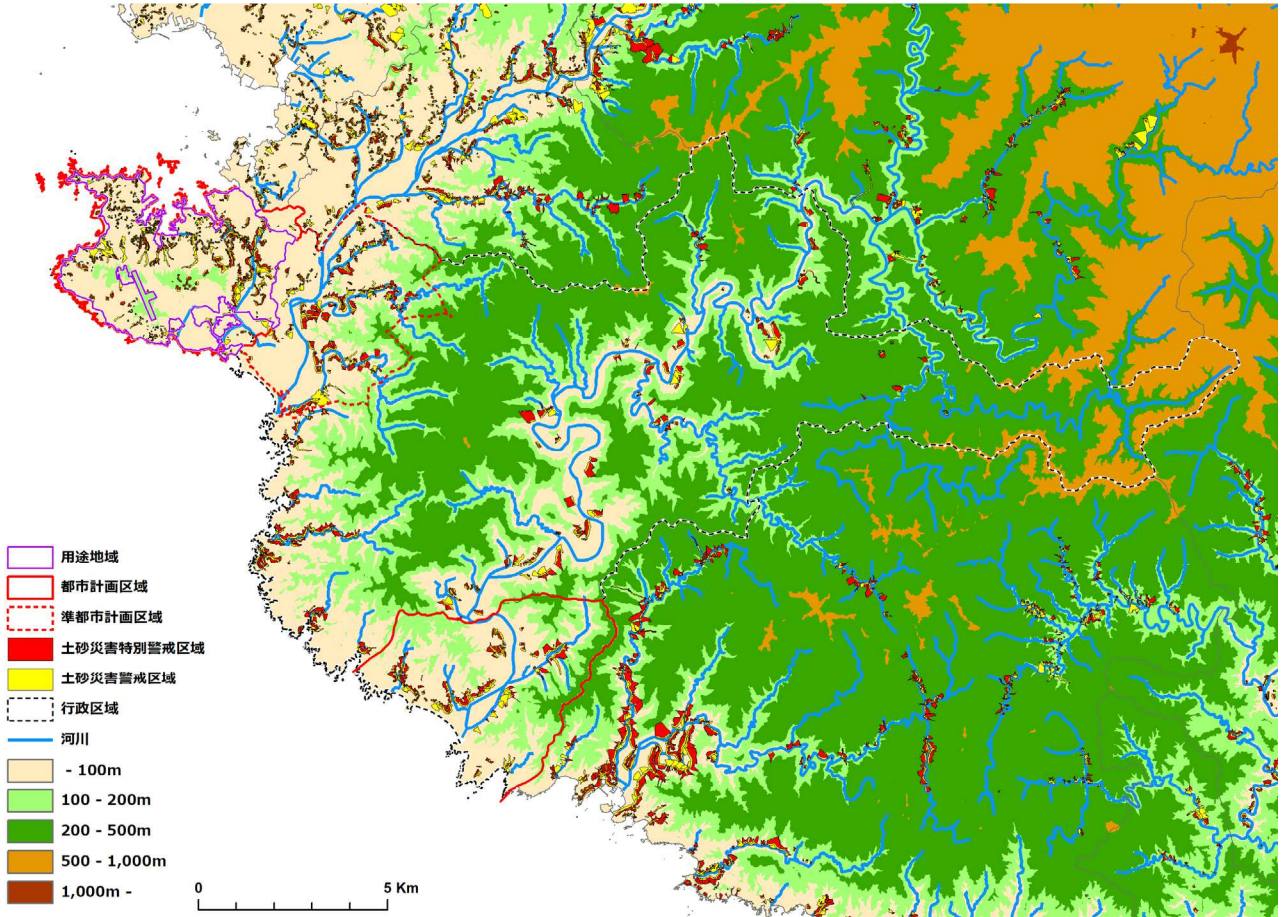
■地震・津波被害

年月	名称	住家等被害(戸)					人的被害(人)					備考
		床下浸水	床上浸水	半壊・一部損壊	全壊・流失	計	死者	重傷者	軽傷者	行方不明者	計	
昭和21年12月	南海地震による津波	42	410	582	70	1,104	15	5	35	3	58	
昭和35年5月	チリ地震津波	55	292	0	1	348	0	0	0	0	0	

資料:白浜町地域防災計画(地震・津波災害対策計画編)

白浜町における土砂災害特別警戒区域や土砂災害警戒区域をみると、白浜都市計画区域内にも広がっていることがわかります。

■白浜町の土砂災害特別警戒区域等（令和2年11月24日時点）



資料:わかやま土砂災害マップ

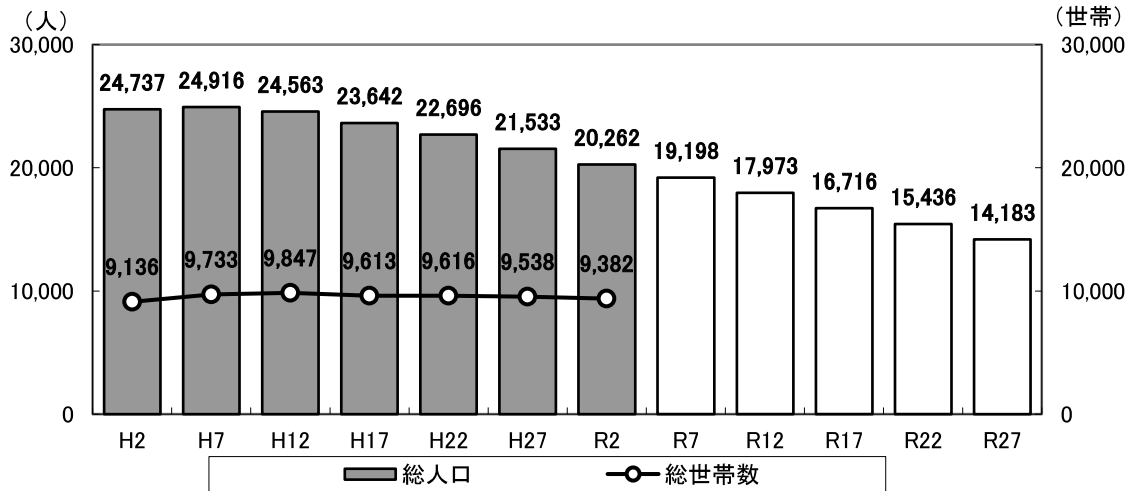
(4) 社会的条件

①人口及び世帯数

令和2年の国勢調査によると20,262人であり、減少傾向を示しています。推移をみると、平成7年にピークを迎え、今後も人口減少が予測されています。

一方、総世帯数は横ばいを示しており、1世帯当たり人員は令和2年で2.16人/世帯となっています。

■総人口・総世帯数の推移と予測



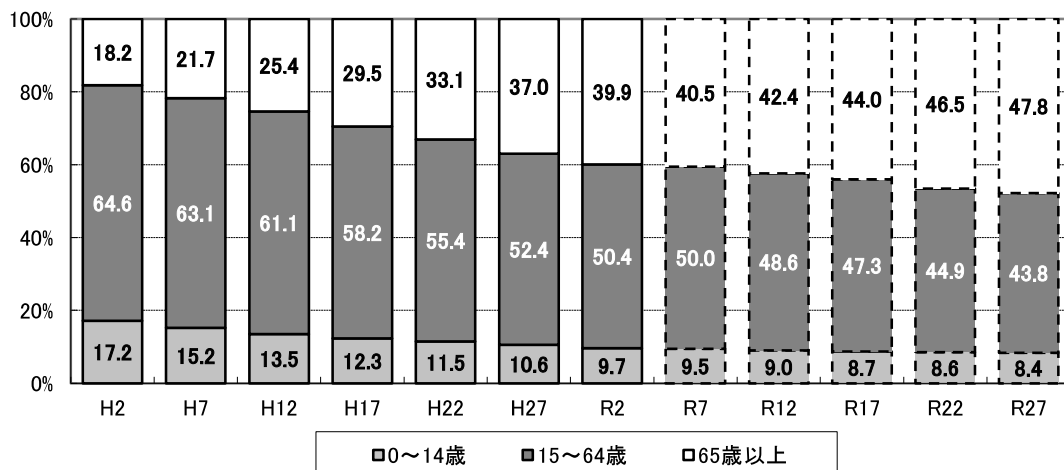
資料:国勢調査(～令和2年)

※令和7年以降は、「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」
国立社会保障・人口問題研究所より

令和2年の年齢3階級別人口をみると、0～14歳(年少人口)が1,940人(9.7%)、15～64歳(生産年齢人口)が10,121人(50.4%)、65歳以上(老年人口)が8,017人(39.9%)となっています。

令和2年までの推移をみると、年少人口と生産年齢人口の割合の低下や老年人口の割合の上昇がみられ、今後もその傾向が続くものと予測されています。

■年齢3階級別人口の推移と予測

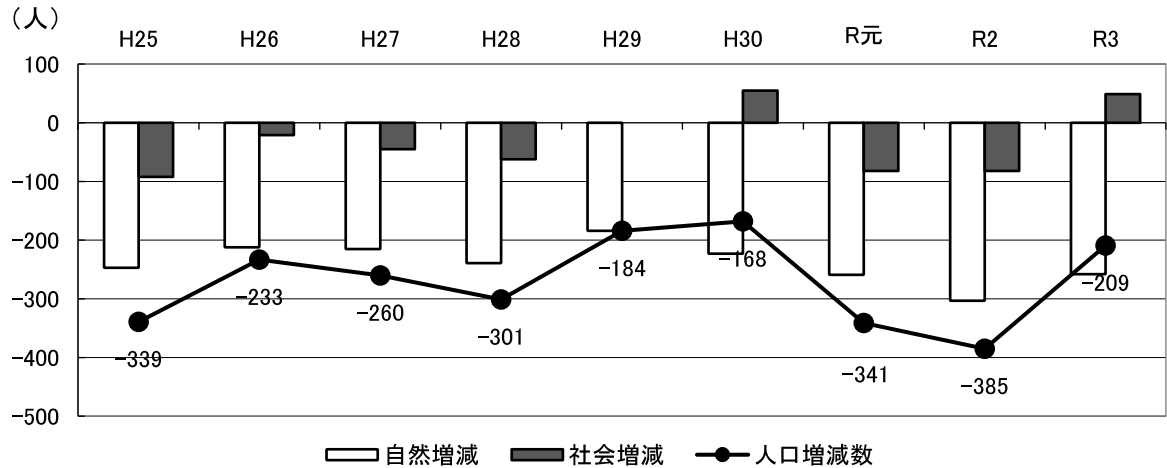


資料:国勢調査(～令和2年)

※令和7年以降は、「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」
国立社会保障・人口問題研究所より

白浜町の自然増減（出生者数－死亡者数）は、近年200～300人／年程度の減少で推移しており、社会増減（転入者数－転出者数）は、近年100人／年程度の減少となっていました。令和3年では49人の増加となっています。

■人口動態の推移



単位: 人

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
出生者数	125	148	128	114	138	111	104	88	101
死亡者数	372	360	343	353	322	334	363	391	359
自然増減	-247	-212	-215	-239	-184	-223	-259	-303	-258
転入者数	817	833	873	837	811	933	893	734	802
転出者数	909	854	918	899	811	878	975	816	753
社会増減	-92	-21	-45	-62	0	55	-82	-82	49
人口増減数	-339	-233	-260	-301	-184	-168	-341	-385	-209
累計	-339	-572	-832	-1,133	-1,317	-1,485	-1,826	-2,211	-2,420

※各年1月～12月の1年間

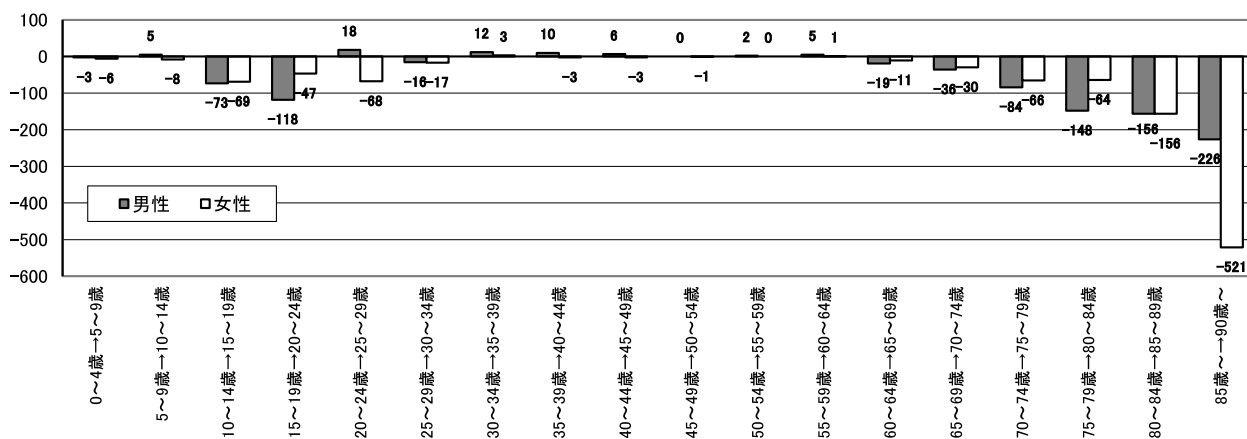
資料: 住民基本台帳

5歳区分別のコーホートの推移（例えば5～9歳のコーホートは、5年後には10～14歳となります）をみると、高齢者を除くと、男女ともに、10～14歳→15～19歳、15～19歳→20～24歳で、マイナスを示しています。また、女性では、20～24歳→25～29歳でもマイナスを示しています。一方で、男性では、20～24歳→25～29歳でプラスを示しています。

これは、大学等への進学を期に、白浜町から移動する若年層が多いことが推測されます。また、男性では、就職を期にUターンと推測される増加がみられる一方で、女性では、就職を期に、白浜町から移動していると考えられます。

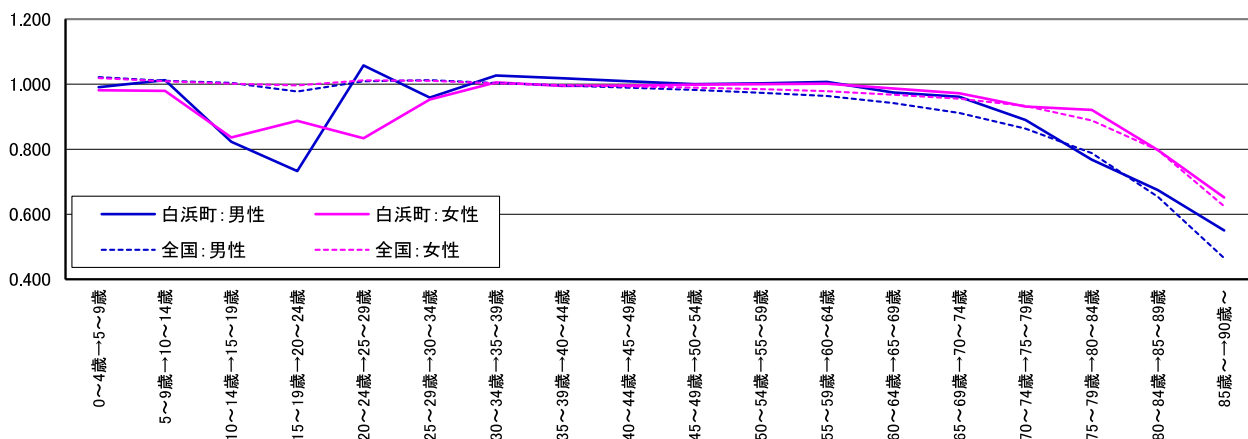
なお、30歳代、40歳代では、わずかにプラスとなっており、白浜町への移動が考えられます。

■コーホートの推移：2015年→2020年（実数）



資料：国勢調査

■コーホートの推移：2015年→2020年（変化率）

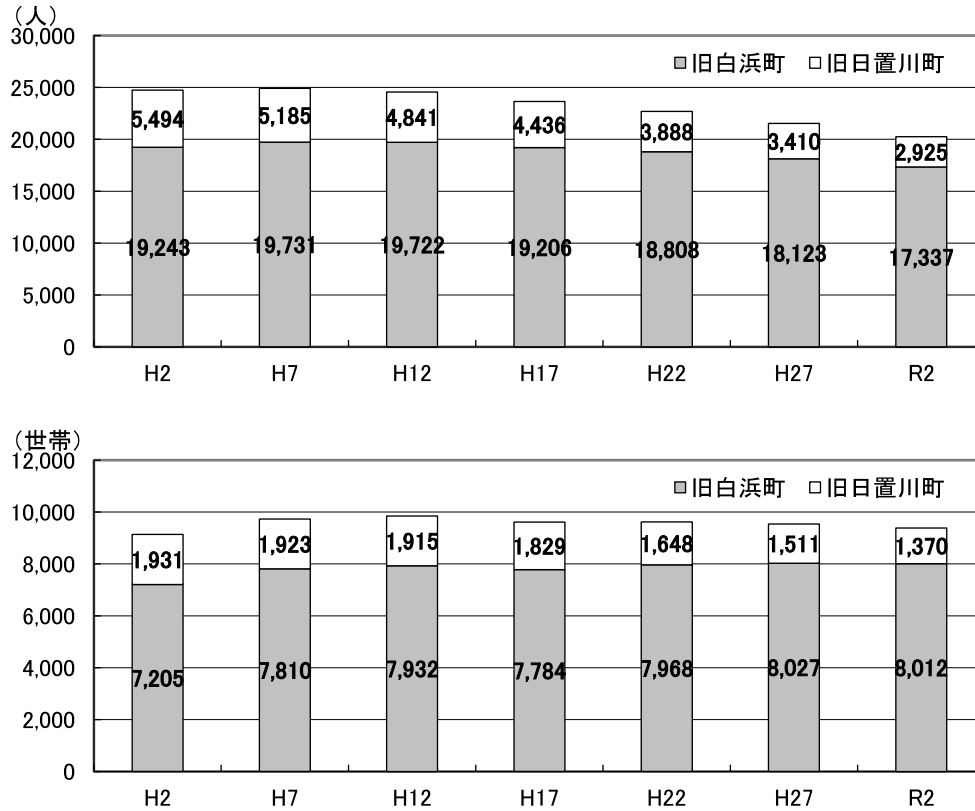


資料：国勢調査

旧町ごとの総人口の推移をみると、旧白浜町、旧日置川町ともに減少傾向にあります。

総世帯数については、旧白浜町では8千世帯程度で推移しており、旧日置川町では減少傾向が続いています。

■旧町ごとの総人口・総世帯数の推移



単位		平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
人口	(人)	24,737	24,916	24,563	23,642	22,696	21,533	20,262
	旧白浜町	19,243	19,731	19,722	19,206	18,808	18,123	17,337
	旧日置川町	5,494	5,185	4,841	4,436	3,888	3,410	2,925
世帯数	(世帯)	9,136	9,733	9,847	9,613	9,616	9,538	9,382
	旧白浜町	7,205	7,810	7,932	7,784	7,968	8,027	8,012
	旧日置川町	1,931	1,923	1,915	1,829	1,648	1,511	1,370
世帯人員	(人/世帯)	2.71	2.56	2.49	2.46	2.36	2.26	2.16
	旧白浜町	2.67	2.53	2.49	2.47	2.36	2.26	2.16
	旧日置川町	2.85	2.70	2.53	2.43	2.36	2.26	2.14

資料: 国勢調査

地域別に人口推移をみると、西富田地域の人口は増加傾向にありますが、その他の地域では減少傾向にあります。

世帯数推移をみると、白浜地域は横ばい、西富田地域は増加傾向にありますが、富田・椿地域では平成27年以降、日置川地域では平成17年以降で減少傾向にあります。

■地域別の人口推移

単位:人

		平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
白浜地域	総数	8,505	8,241	7,671	7,452	7,088	6,902	6,362
	平成2年比較	100%	97%	90%	88%	83%	81%	75%
西富田地域	総数	4,918	5,495	6,146	6,262	6,429	6,433	6,444
	平成2年比較	100%	112%	125%	127%	131%	131%	131%
富田・椿地域	総数	5,844	5,986	6,191	6,123	5,899	5,508	5,062
	平成2年比較	100%	102%	106%	105%	101%	94%	87%
日置川地域	総数	5,915	5,554	5,185	4,736	4,184	3,643	3,098
	平成2年比較	100%	94%	88%	80%	71%	62%	52%
白浜町(合計)	総数	25,182	25,276	25,193	24,573	23,600	22,486	20,966
	平成2年比較	100%	100%	100%	98%	94%	89%	83%

資料:住民基本台帳

■地域別の世帯数推移

単位:世帯

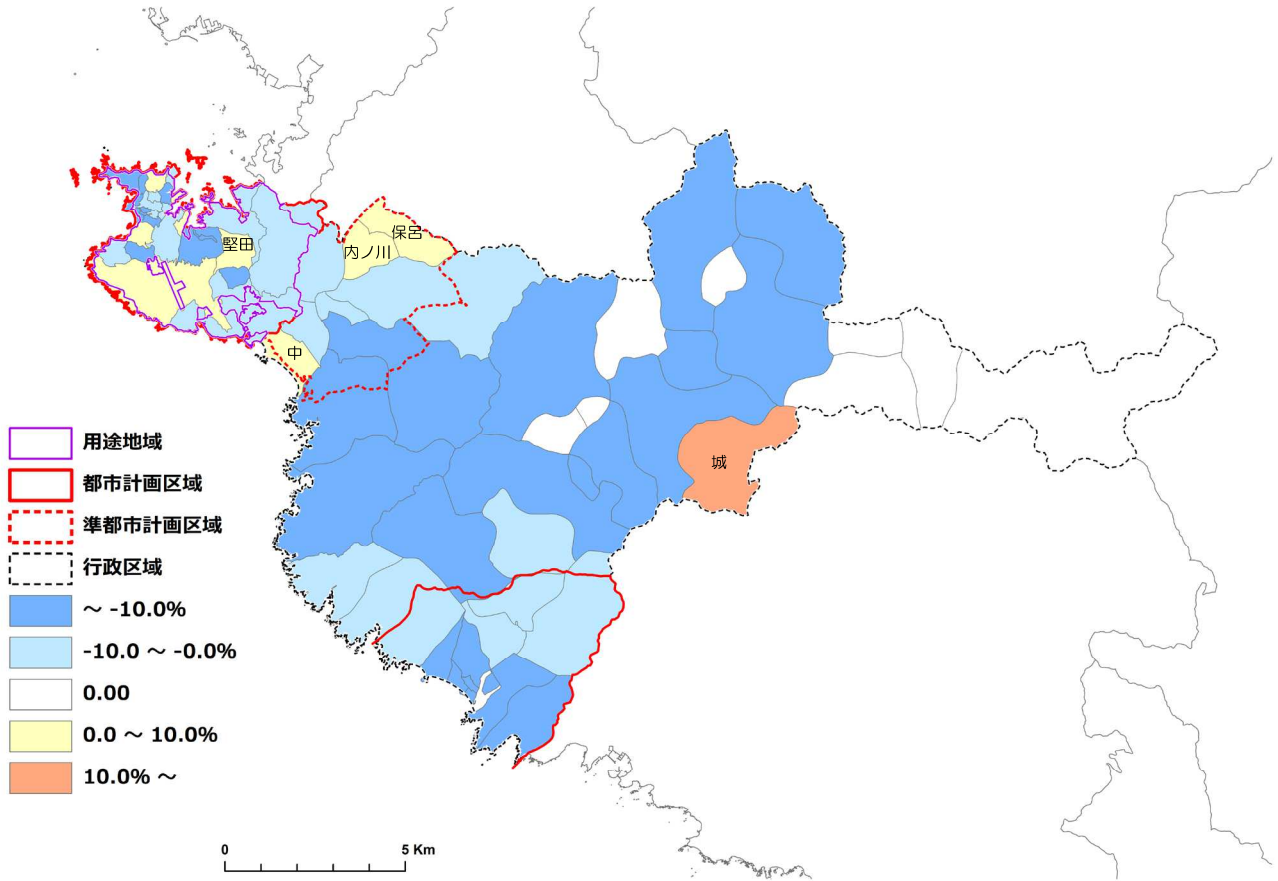
		平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
白浜地域	総数	3,483	3,634	3,550	3,640	3,606	3,744	3,667
	平成2年比較	100%	104%	102%	105%	104%	107%	105%
西富田地域	総数	1,697	2,032	2,407	2,630	2,856	2,988	3,196
	平成2年比較	100%	120%	142%	155%	168%	176%	188%
富田・椿地域	総数	1,993	2,201	2,452	2,511	2,577	2,564	2,485
	平成2年比較	100%	110%	123%	126%	129%	129%	125%
日置川地域	総数	2,054	2,061	2,050	2,052	2,010	1,859	1,708
	平成2年比較	100%	100%	100%	100%	98%	91%	83%
白浜町(合計)	総数	9,227	9,928	10,459	10,833	11,049	11,155	11,056
	平成2年比較	100%	108%	113%	117%	120%	121%	120%

資料:住民基本台帳

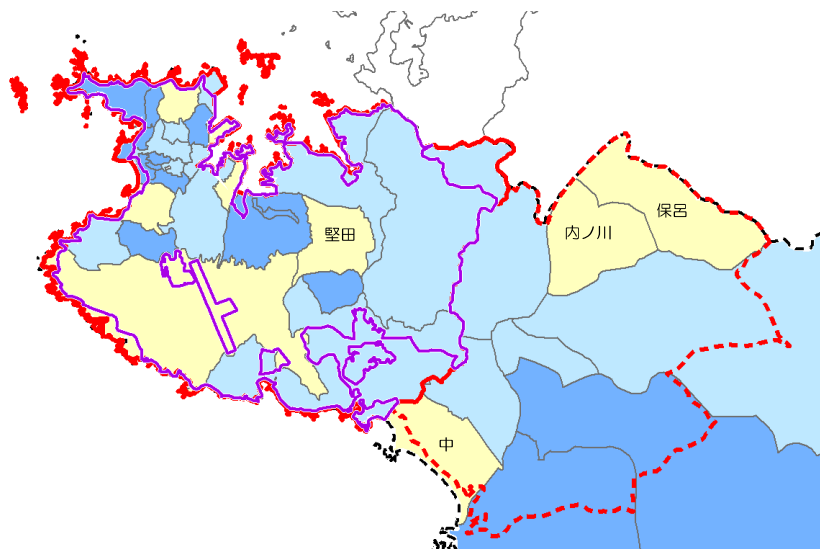
- ※白浜地域 (湯崎・白浜・東白浜・瀬戸地区)
- 西富田地域 (堅田・才野地区)
- 富田・椿地域 (中・栄・平・保呂・内ノ川・庄川・十九淵・富田・椿地区)
- 日置川地域 (日置・塩野・大古・矢田・安宅・田野井・ロケ谷・安居・寺山・中嶋・向平・久木・城・小川・宇津木・大・玉伝・小房・市鹿野・上露地区)

国勢調査における小地域（字）別の人口増減をみると、人口減少が伺える小地域が多くみられます。なお、一部、白浜都市計画区域・準都市計画区域内で、人口増加が伺える小地域もみられます。

■小地域（字）別の人口増減（平成27年～令和2年）



(白浜都市計画区域・準都市計画区域内拡大)



※地図内には人口増加がみられる小地域（字名がある箇所）を記載しています。

※人口が少ない小地域（字）は、人口の増減が少ない場合においても、増減率が大きく変動する場合があります。

資料:国勢調査

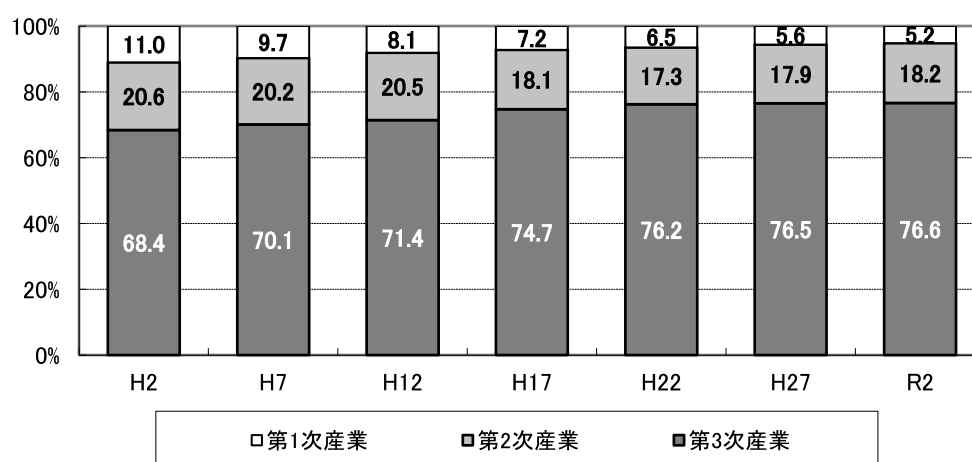
②産業

産業大分類別就業者数をみると、令和2年では、第1次産業467人（5.2%）、第2次産業1,627人（18.2%）、第3次産業6,845人（76.6%）となっています。

その推移をみると、第3次産業の就業者数が全体に占める割合は70%程度で推移していることがわかります。

就業率（総人口に占める就業者数の割合）は、令和2年で44.1%と、その割合は微減の傾向にあります。

■産業大分類別就業者数



単位：人

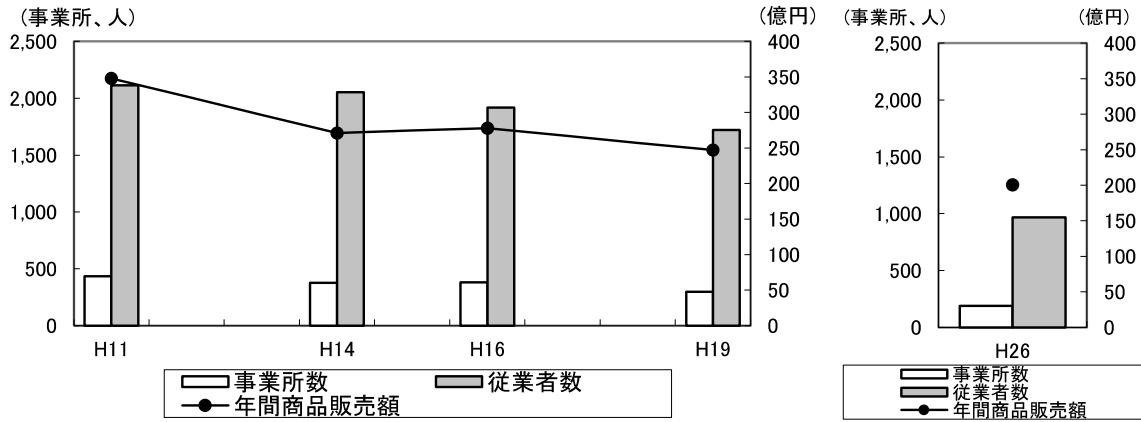
	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
就業者数	12,111	12,720	11,871	10,938	10,020	9,671	8,939
第1次産業	1,328	1,238	955	792	653	540	467
第2次産業	2,501	2,563	2,438	1,980	1,728	1,731	1,627
第3次産業	8,282	8,919	8,478	8,166	7,639	7,400	6,845
就業率	49.0%	51.1%	48.3%	46.3%	44.1%	44.9%	44.1%

※分類不能を除く

資料：国勢調査

商業に関する指標をみると、事業所数、従業者数、年間商品販売額ともに微減傾向にあります。

■事業所数、従業者数、年間商品販売額の推移



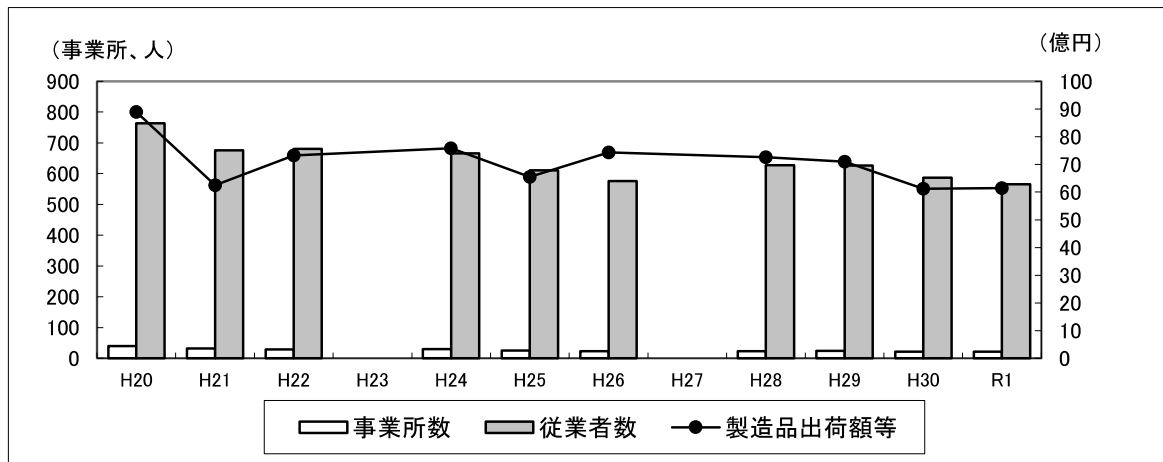
単位	平成11年			平成14年			平成16年			平成19年			平成26年		
	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	年間商品販売額 (億円)	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	年間商品販売額 (億円)	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	年間商品販売額 (億円)	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	年間商品販売額 (億円)	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	年間商品販売額 (億円)
白浜町	433	2,113	348	375	2,054	271	382	1,918	278	298	1,722	247	189	967	200

※商業統計調査と経済センサスは、調査対象、集計対象等が異なるため、平成26年は参考値。

資料：商業統計調査(平成9年～平成19年)、経済センサス(平成26年)

工業に関する指標をみると、事業所数、従業者数、製造品出荷額等とともに、平成28年以降、微減傾向を示しています。

■事業所数、従業者数、製造品出荷額等の推移



単位	平成20年			平成21年			平成22年			平成24年			平成25年		
	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	製造品出荷額等 (億円)	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	製造品出荷額等 (億円)	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	製造品出荷額等 (億円)	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	製造品出荷額等 (億円)	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	製造品出荷額等 (億円)
白浜町	40	764	89	32	676	63	29	681	73	30	666	76	25	611	66

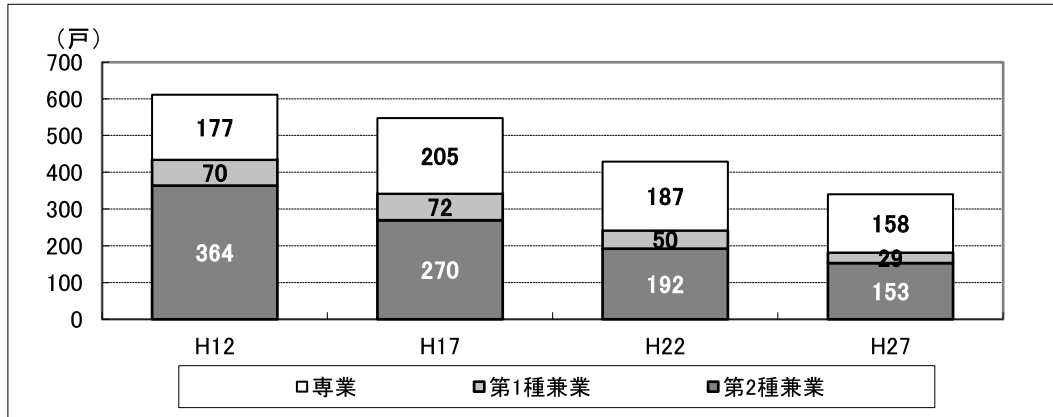
単位	平成26年			平成28年			平成29年			平成30年			令和元年		
	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	製造品出荷額等 (億円)	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	製造品出荷額等 (億円)	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	製造品出荷額等 (億円)	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	製造品出荷額等 (億円)	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	製造品出荷額等 (億円)
白浜町	23	576	74	23	627	73	24	626	71	21	587	61	21	566	61

※平成23,27年は調査なし

資料：工業統計調査

農業に関する指標をみると、農家数全体は減少傾向にあります。

■農家数の推移



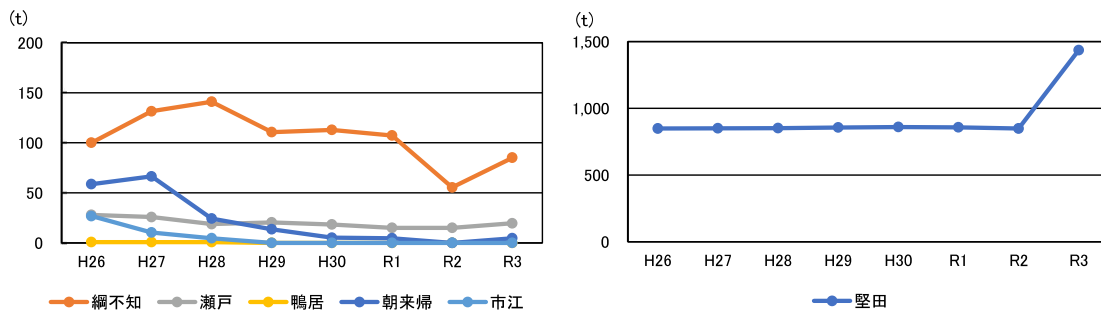
単位: 戸

	平成12年		平成17年		平成22年		平成27年	
	数	構成比	数	構成比	数	構成比	数	構成比
農家数	611	100.0%	547	100.0%	429	100.0%	340	100.0%
専業	177	29.0%	205	37.5%	187	43.6%	158	46.5%
第1種兼業	70	11.4%	72	13.2%	50	11.6%	29	8.5%
第2種兼業	364	59.6%	270	49.3%	192	44.8%	153	45.0%

資料: 農林業センサス

水産業については、漁港別水産物陸揚量（属地陸揚量）をみると、堅田漁港が最も多く、ついで網不知漁港が続いています。

■漁港別水産物陸揚量（属地陸揚量）の推移



単位: t

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
堅田	849.0	850.0	851.0	856.0	860.0	858.0	848.8	1435.7
網不知	100.1	131.5	141.0	110.6	112.9	107.3	55.4	85.1
瀬戸	28.0	25.8	18.8	20.4	18.4	15.0	15.0	19.6
鴨居	0.7	0.7	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
袋	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
朝来帰	58.7	66.4	24.3	13.5	5.2	4.7	0.0	4.7
市江	26.7	10.4	4.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
伊古木	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

資料: 港勢調査

③観光資源

白浜町の観光地として、全国屈指の観光温泉である白浜温泉、自然が創り出した美しい景観の円月島、千畳敷、三段壁のほか、白良浜などの海水浴場、平草原公園、テーマパークなどがあります。

また、ユネスコ世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」熊野参詣道大辺路（富田坂・仏坂等）が通っています。さらに、「南紀熊野ジオパーク」の日本ジオパーク認定、安宅氏城館跡の史跡指定、「田辺南部白浜海岸県立自然公園」・「熊野枯木灘海岸県立自然公園」の「吉野熊野国立公園（和歌山県海岸地域）」への編入がありました。

道の駅「志原海岸」では町内で生産した農作物や手工芸品を販売しており、生産者の顔が見える「市」として好評です。

白浜町を訪れた観光客数は、増減を繰り返しながらほぼ横ばいの状態を保っていました。令和2年では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための緊急事態宣言発出の影響等もあり、大きく減少しました。令和元年までは観光客（約350万人）の約6割が宿泊客で、年間200万人前後で推移していましたが、令和2年では観光客（約240万人）の約5割が宿泊客で、年間約120万人まで減少しています。

■主要な観光地の観光客数推移

単位：人

主要な観光地の観光客数推移							
区分		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
白浜温泉 ・ 椿温泉	宿泊客	2,064,264	1,939,985	1,924,054	1,924,097	2,005,476	1,209,475
	日帰り客	1,379,766	1,383,408	1,389,035	1,418,251	1,443,614	1,163,259
	合計	3,444,030	3,323,393	3,313,089	3,342,348	3,449,090	2,372,734

資料：観光客動態調査報告書（和歌山県）

単位：人

夏季（7月～8月）観光客入込客数推移							
区分	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
宿泊客	419,100	450,000	439,000	429,100	410,300	407,800	247,900
前年比	-	107.4%	97.6%	97.7%	95.6%	99.4%	60.8%
日帰り客	250,000	290,000	298,000	285,800	278,800	277,500	209,300
前年比	-	116.0%	102.8%	95.9%	97.6%	99.5%	75.4%
計	669,100	740,000	737,000	714,900	689,100	685,300	457,200
前年比	-	110.6%	99.6%	97.0%	96.4%	99.4%	66.7%

資料：主要観光地における夏季の観光客入込状況について（和歌山県）

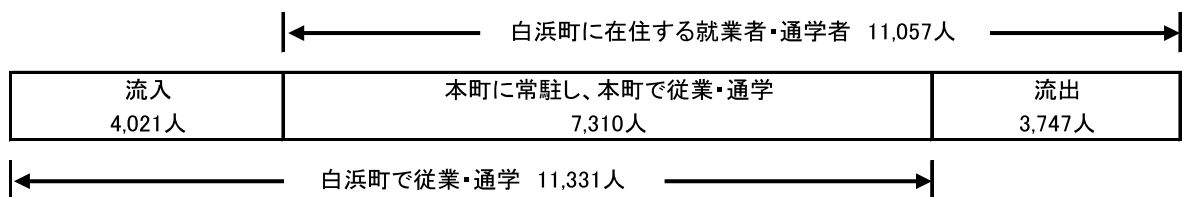
④人の流れ

令和2年国勢調査の通勤・通学の動向をみると、白浜町に在住する就業者・通学者11,057人の約66%にあたる7,310人が町内に就業・通学しており、都市としての自立性の高さが伺えます。

■通勤・通学の移動



■白浜町の通勤・通学の動向



単位:人

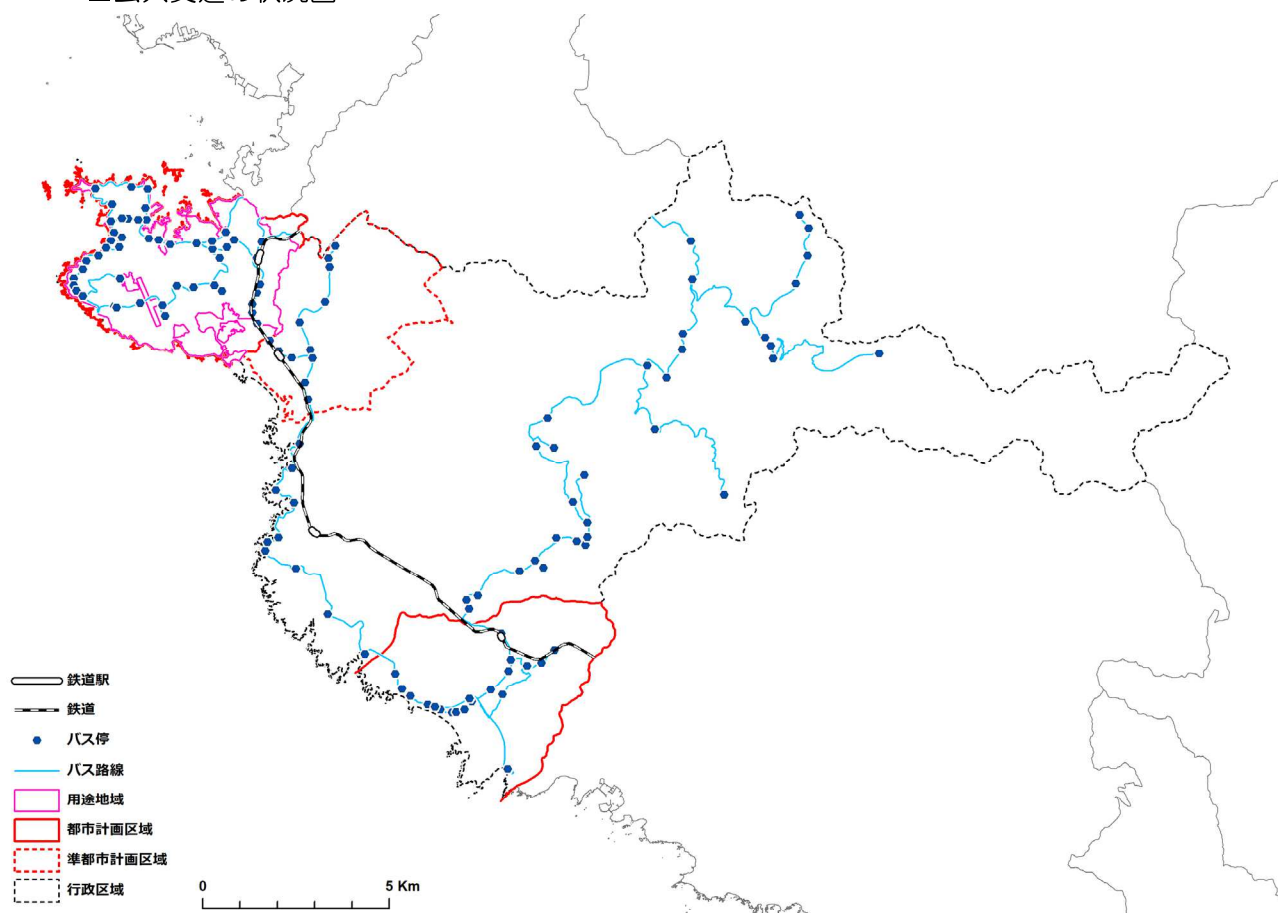
白浜町への就業者・通学者の常住地		就業者・通学者数		白浜町からの就業地・従業地		就業者・通学者数	
		数	割合			数	割合
和歌山県	白浜町	7,310	64.51%	白浜町	7,310	66.11%	
	田辺市	2,046	18.06%	田辺市	2,103	19.02%	
	みなべ町	129	1.14%	みなべ町	113	1.02%	
	上富田町	985	8.69%	上富田町	747	6.76%	
	すさみ町	210	1.85%	すさみ町	115	1.04%	
	古座川町	0	0.00%	古座川町	3	0.03%	
	串本町	23	0.20%	串本町	28	0.25%	
	その他の市町村	90	0.80%	その他の市町村	143	1.29%	
	大阪府	61	0.54%	大阪府	35	0.32%	
三重県	1	0.01%	三重県	1	0.01%		
其他都道府県	44	0.39%	其他都道府県	27	0.24%		
不詳	432	3.81%	不詳	432	3.91%		
計	11,331	-	計	11,057	-		

資料:国勢調査(令和2年)

白浜町内には、JR白浜駅、JR紀伊富田駅、JR椿駅、JR紀伊日置駅の4駅があります。
また、路線バス、白浜町コミュニティバスが運行しています。

コミュニティバスの運行路線は、三舞線・川添線の2路線で、定期運行便及び予約運行便を併用しています。

■公共交通の状況図



資料:国土数値情報、都市計画基礎調査

⑥土地利用

土地利用の状況をみると、約8割が山林におおわれています。田や畑の農地は、富田川や日置川沿いの低地部に広がっています。また、建物用地は、白浜都市計画区域や日置川都市計画区域内の沿岸部にみられます。

■地目別面積の推移（各年1月1日現在）

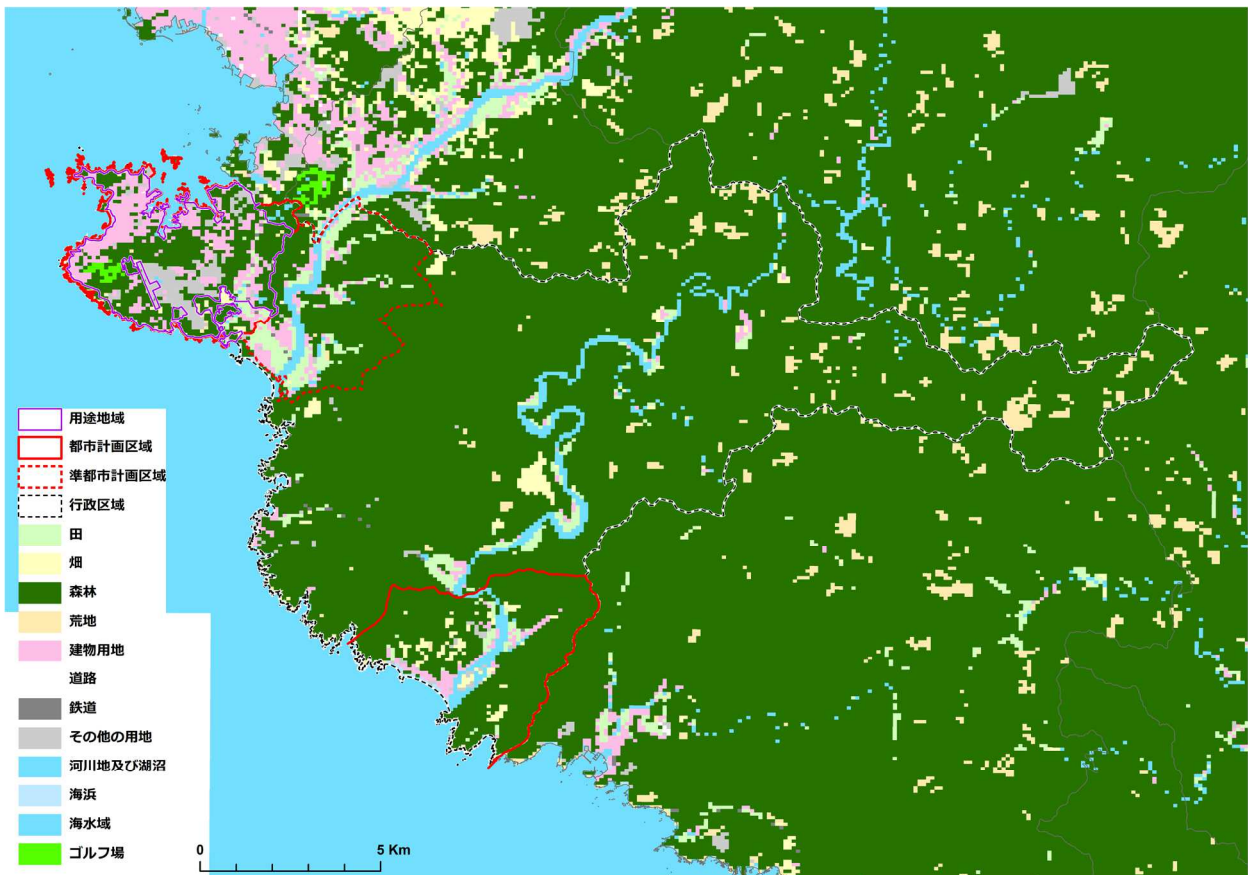
単位:ha

年別	田	畑	宅地	鉱泉地	池沼	山林	原野	雑種地	総数
平成28年	484.08	392.35	484.58	0.11	1.99	7,515.27	43.19	244.30	9,165.87
平成29年	483.74	388.97	485.62	0.11	1.99	7,472.05	42.34	245.05	9,119.87
平成30年	492.58	417.90	501.71	0.11	1.88	8,780.70	44.60	251.53	10,491.01
令和元年	492.55	416.78	505.84	0.12	1.88	8,777.20	44.66	255.34	10,494.37
令和2年	487.38	417.65	509.62	0.12	1.50	8,802.84	44.59	256.31	10,520.01
令和3年	487.56	416.59	510.65	0.12	1.78	8,832.95	41.25	256.93	10,547.83
令和4年	485.85	412.35	513.48	0.12	1.80	9,027.43	40.39	261.12	10,742.54
割合%	4.5%	3.9%	4.8%	0.0%	0.0%	84.0%	0.4%	2.4%	100.0%

注:非課税分を除く

資料:町勢要覧資料編(税務課)

■土地利用現況（令和3年）



資料:国土数値情報

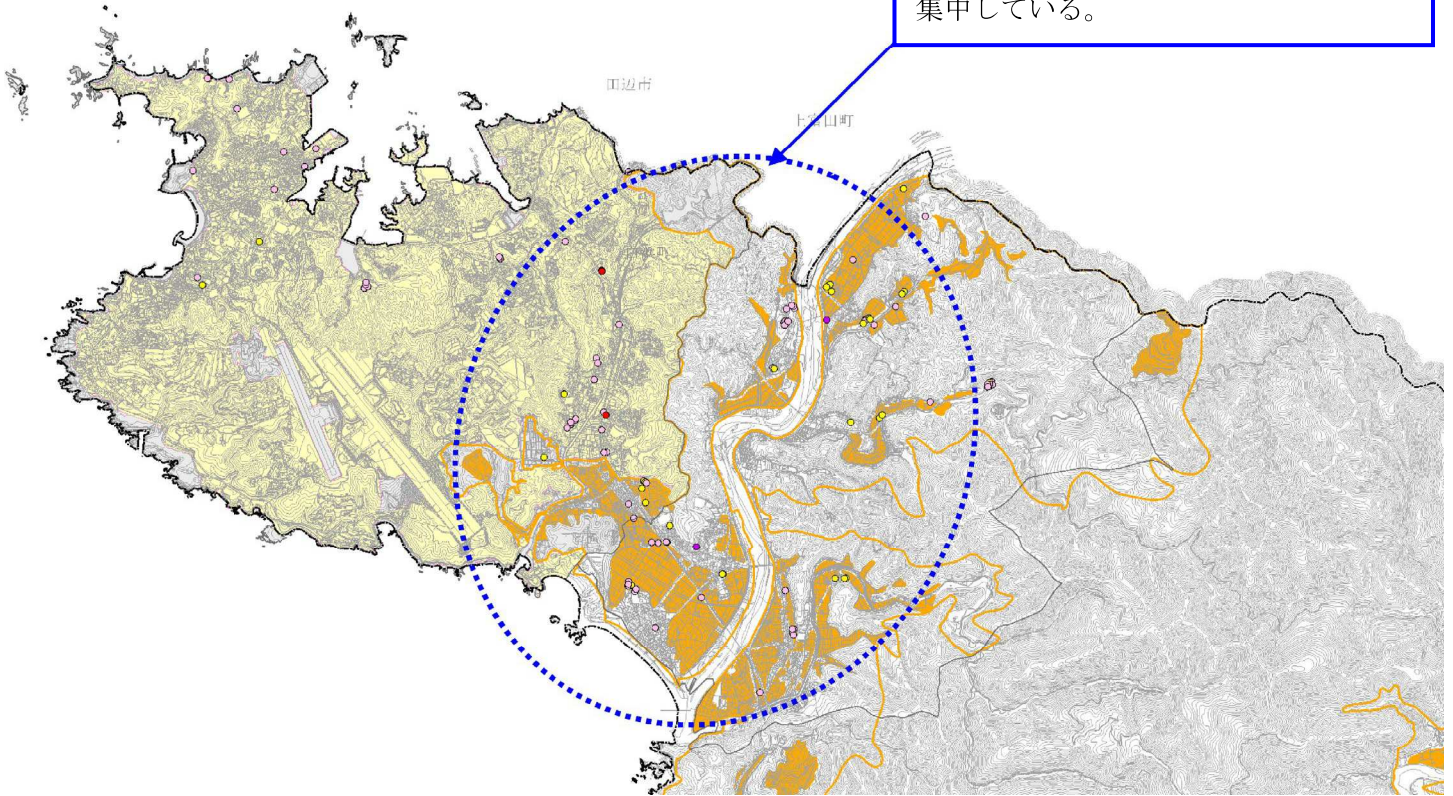
⑦農地転用状況

農地転用の箇所をみると、都市計画区域では、堅田・才野地区に多く、準都市計画区域では、平・内ノ川・栄・中地区に多くなっています。

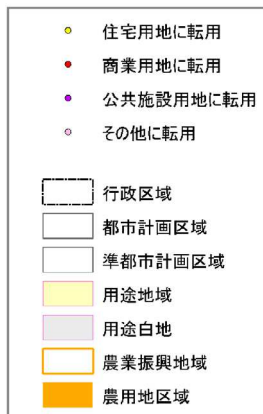
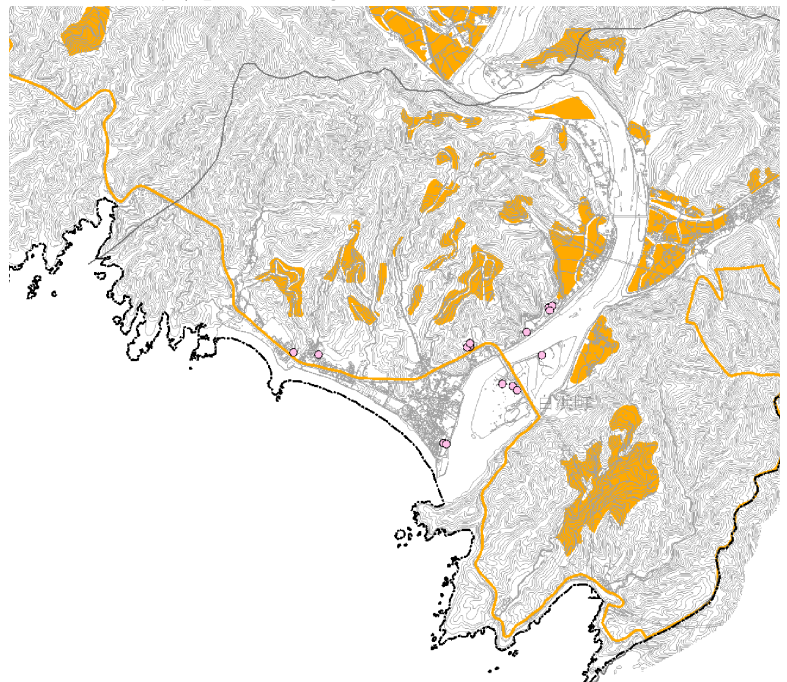
■農地転用状況位置図（平成25年度～平成30年度）

○白浜都市計画区域周辺

堅田・才野・平・内ノ川・栄・中地区に集中している。



○日置川都市計画区域周辺

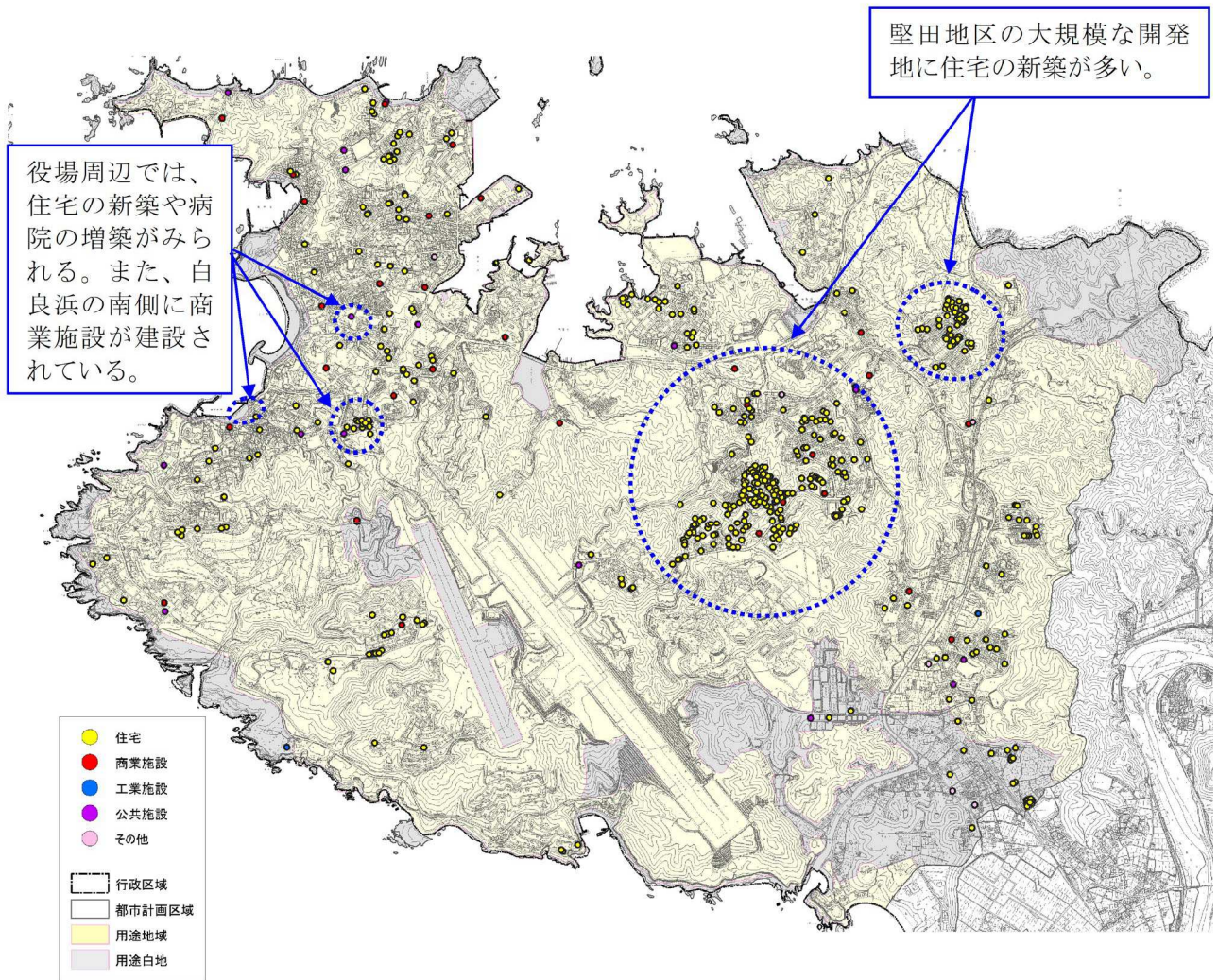


資料: 令和元年度都市計画基礎調査 報告書

⑧新築動向

市街地は宿泊施設等の商業地が多く、新たな住宅地の造成地が少ないことと、白浜空港線の整備により利便性が良くなったため、堅田地区においては住宅の新築が多くなっていると考えられます。また、白浜地域についても、新築の住宅が点在してみられます。

■新築動向位置図（都市計画区域）（平成25年度～平成30年度）



資料: 令和元年度都市計画基礎調査 報告書

◎空き家の状況

平成28年度に実施された空き家実態（所在・状態）調査では、以下のように空き家と想定される家屋は1,272棟存在しています。そのうち、倒壊の恐れがある緊急度の高い建物は107棟あります。

なお、この調査では、外観や上水道・電気などの利用状況、周辺からの情報を基に、空き家候補となる建物をスクリーニングしたものです。

■空き家と想定される家屋の状態

単位:棟

緊急度	内容	棟数
高	倒壊の恐れがある	107
中	すぐに倒壊しないが補強等の措置が必要	328
低	当面、倒壊の恐れがない	837
合計		1,272

平成28年度

資料:白浜町空家等対策計画

■空き家と想定される家屋の地区

単位:棟

地区	緊急度			合計
	高	中	低	
白浜地区	26	71	196	293
富田地区	22	92	257	371
日置川地区	59	165	384	608
合計	107	328	837	1,272

平成28年度

資料:白浜町空家等対策計画

(5) 都市計画の状況

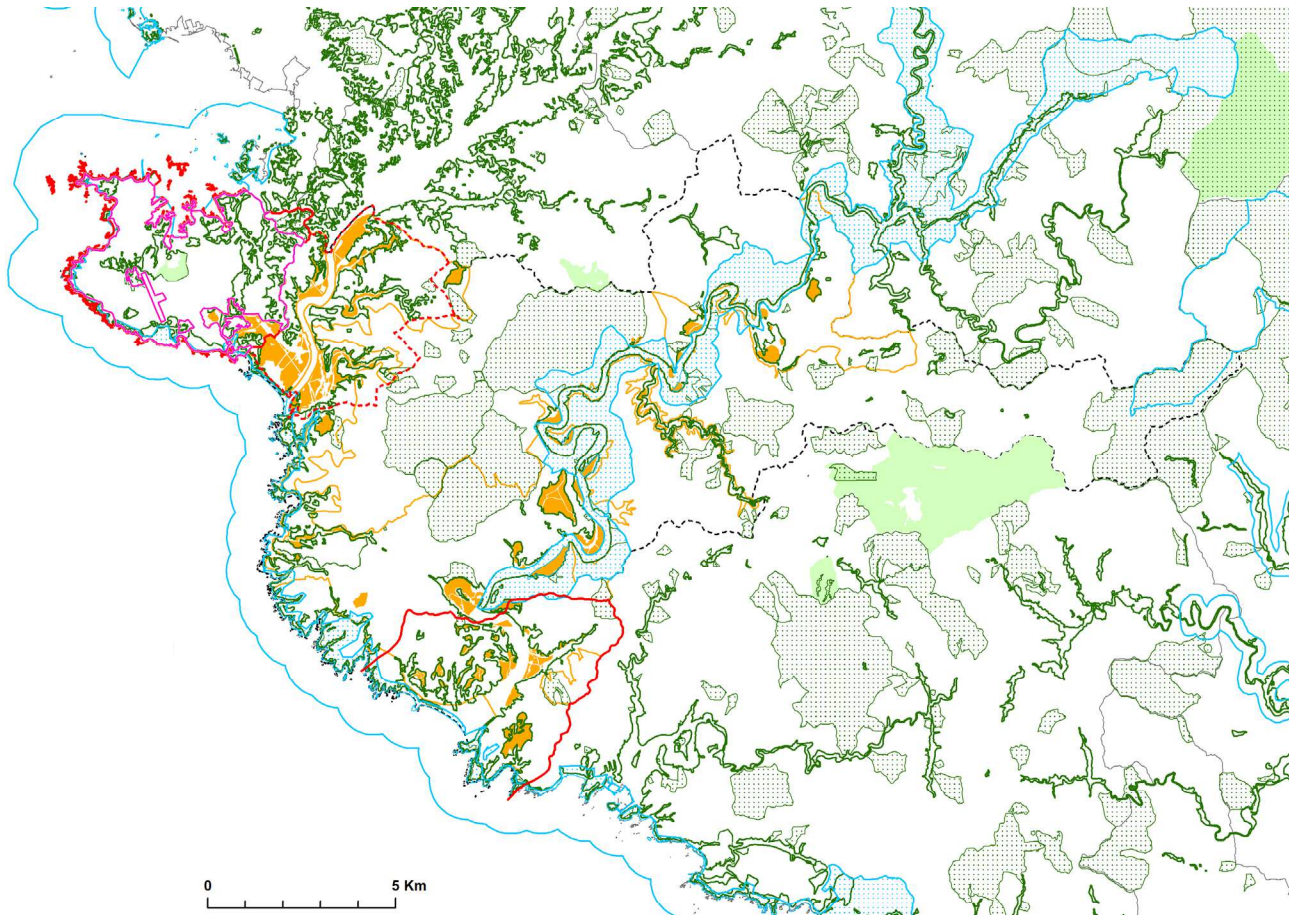
①土地利用規制の状況

白浜都市計画区域及び日置川都市計画区域ともに、市街化区域と市街化調整区域との区域区分による強い土地利用規制は、行われていません。

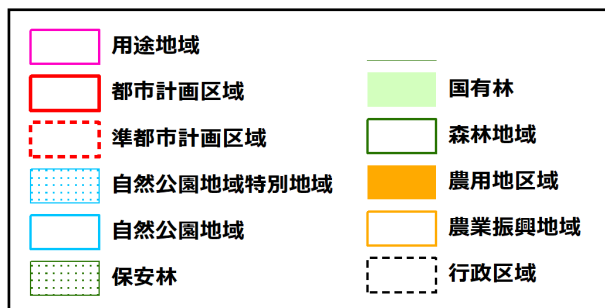
白浜都市計画区域は、その約86%が用途地域に指定されていますが、日置川都市計画区域は指定されていません。

農用地区域は、富田川や日置川沿いに広がっています。

■土地利用規制の状況（平成27年）



資料:国土数値情報、都市計画基礎調査



②都市計画の状況

都市計画区域については、白浜都市計画区域、日置川都市計画区域、白浜準都市計画区域が指定されています。

なお、地域地区や地区計画の指定状況は以下に示すとおりです。

■都市計画区域の指定状況

区域名、告示年月日	面積、概ねの指定の範囲
白浜都市計画区域 当初:S8.11.24 最終:S33. 7. 1	1,911ha 湯崎、白浜、東白浜、瀬戸、堅田、才野
日置川都市計画区域 当初:H11. 2. 2 最終:H11. 2. 2	1,968ha 志原、日置、塩野、大古、矢田、安宅
白浜準都市計画区域 当初:H27. 4. 1 最終:H27. 4. 1	1,622ha 栄、内ノ川、平、中の一部、庄川の一部、 十九淵の一部、富田の一部

令和3年3月31日現在

資料:都市計画現況調査(令和3年)

■用途地域の指定状況

区域名	種別	面積(ha)	備考
白浜都市計画区域	合計	1650.0	R3. 3. 8 告示
	住宅系	1416.3	1低 605.3ha、1中高 355.0ha、2中高 3.0ha、1住 361.0ha、2住 92.0ha
	商業系	99.0	近商 24.0ha、商 75.0ha
	工業系	134.7	準工 134.7ha

令和3年3月31日現在

資料:都市計画現況調査(令和3年)

1低…第1種低層住居専用地域、1中高…第1種中高層住居専用地域、2中高…第2種中高層住居専用地域、
1住…第1種住居地域、2住…第2種住居地域、近商…近隣商業地域、商…商業地域、準工…準工業地域

■特定用途制限地域の指定状況

区域名	種別	面積(ha)	備考
白浜都市計画区域	合計	186.0	H27. 4. 1 告示
	第1種	154.0	
	第2種	32.0	
白浜準都市計画区域	合計	1622.0	H27. 4. 1 告示
	第1種	1543.0	
	第2種	68.0	
	第3種	11.0	

令和3年3月31日現在

資料:都市計画現況調査(令和3年)

■特別用途地区の指定状況

区域名、告示年月日	地区名称	面積(ha)	用途地域
白浜都市計画区域 当初:S48.12.27 最終:H29. 4. 3 当初:H25. 4. 1	合計	155.0	-
	第一種娯楽レクリエーション地区	2.0	1中高
	第二種娯楽レクリエーション地区	68.0	準工
	第三種娯楽レクリエーション地区	61.0	2住
	観光地区	24.0	近商

地区名称	目的	制限または緩和
第一種娯楽レクリエーション地区	宿泊施設の立地促進	ホテル、旅館等の緩和
第二種娯楽レクリエーション地区	レクリエーション施設の立地促進	原則として自然動物園・遊戯施設以外は制限
第三種娯楽レクリエーション地区	良好な住環境の保全	ホテル、旅館等を除き、第二種中高層住居専用地域と同じ規制
観光地区	周辺環境との調和	学校、一部の工場などは制限

令和3年3月31日現在

資料:都市計画現況調査(令和3年)

■風致地区の指定状況

区域名、告示年月日	風致地区名称	面積(ha)
白浜都市計画区域 当初:S49.11.26 最終:H29. 4. 3	合計	325.5
	臨海(第一種 124ha、第二種 2ha、第四種 9ha)	135.0
	白良浜(第一種)	11.0
	千畳敷・三段(第一種 39ha、第二種 8.80ha)	47.8
	平草原(第二種)	27.0
	古々浦(第一種)	4.0
	藤島(第一種)	12.7
	大池(第一種)	62.0
	西山(第一種)	22.0
	島島(第一種)	4.0

令和3年3月31日現在

資料:都市計画現況調査(令和3年)

■高度地区の指定状況

区域名、告示年月日	種類	面積(ha)
白浜都市計画区域 当初:S49.11.15 最終:H24. 3.27	合計	90.0
	高度地区(第一種)	46.0
	高度地区(第二種)	44.0

令和3年3月31日現在

資料:都市計画現況調査(令和3年)

■地区計画の指定状況

区域名、告示年月日	地区名称	面積(ha)
白浜都市計画区域 H2. 3.22 当初:H2.3.22 最終:H29.4.3	合計	34.7
	古賀浦	13.0
	千畳敷・三段	21.7

令和3年3月31日現在

資料:都市計画現況調査(令和3年)

③都市施設

都市計画道路については、白浜都市計画区域で、改良及び概成済の割合（改良+概成率）が、96.5%、日置川都市計画区域で、改良及び概成済の割合（改良+概成率）が、100%となっており、いずれの都市計画区域においても和歌山県平均を大きく上回っています。

都市計画公園については、白浜都市計画区域に13箇所、都市計画決定されていますが、そのうち9箇所が供用済みです。供用率については、46.2%と、和歌山県平均（63.0%）を下回っています。

都市計画墓園については、白浜都市計画区域に1箇所、都市計画決定されており、供用済みです。

■都市計画道路の状況

単位:km

都市計画 区域名称	町名	都市計画道路			
		総延長	改良済延長	概成済延長	改良+概成率
白浜	白浜町	34.97	13.26	20.47	96.5%
日置川	白浜町	8.01	0.66	7.35	100.0%
和歌山県		619.21	322.46	92.49	67.0%

令和3年3月31日現在

資料:都市計画現況調査(町調べ)

■都市計画公園の状況

白浜 都市計画 区域	街区公園		近隣公園		地区公園		総合公園		運動公園	
	箇所 数	面積 (ha)	箇所 数	面積 (ha)	箇所 数	面積 (ha)	箇所 数	面積 (ha)	箇所 数	面積 (ha)
計画	6	1.78	0	0.00	0	0.00	3	45.40	1	7.30
供用	4	1.15	0	0.00	0	0.00	2	21.80	1	7.30
白浜 都市計画 区域	風致公園		特殊公園		合計		供用 率	和歌山県合計		供用 率
	箇所 数	面積 (ha)	箇所 数	面積 (ha)	箇所 数	面積 (ha)		箇所 数	面積 ha	
計画	2	36.30	1	5.00	13	95.78	46.2%	202	688.64	63.0%
供用	2	14.00	0	0.00	9	44.25		177	433.94	

令和3年3月31日現在

資料:都市計画現況調査(町調べ)

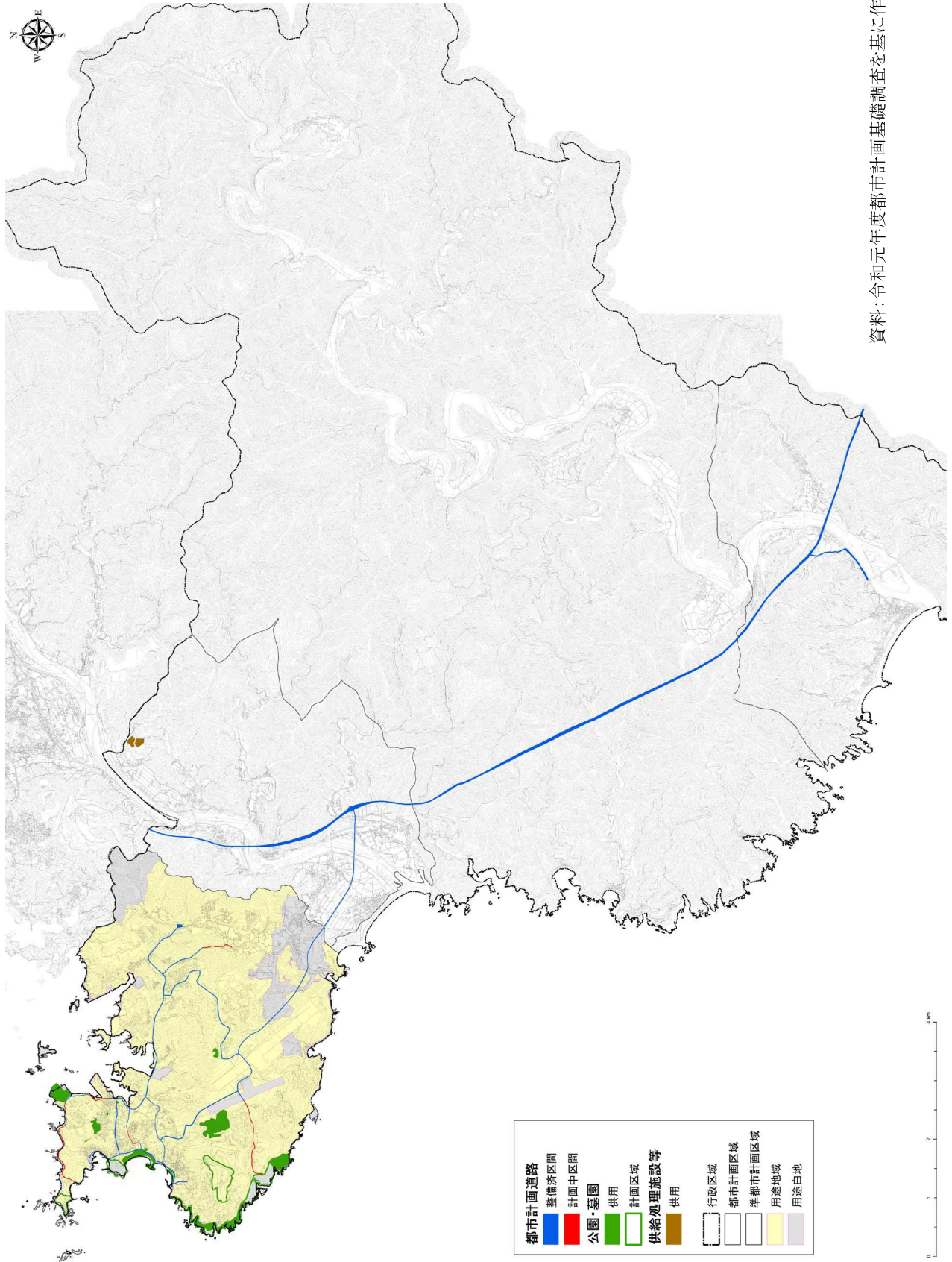
■都市計画墓園の状況

白浜 都市計画 区域	都市計画墓園		供用 率	和歌山県合計		供用 率
	箇所 数	面積 (ha)		箇所 数	面積 ha	
計画	1	1.80	100.0%	3	34.80	100.0%
供用	1	1.80		3	34.80	

令和3年3月31日現在

資料:都市計画現況調査(町調べ)

■都市計画道路・公園・墓園・供給処理施設等の状況



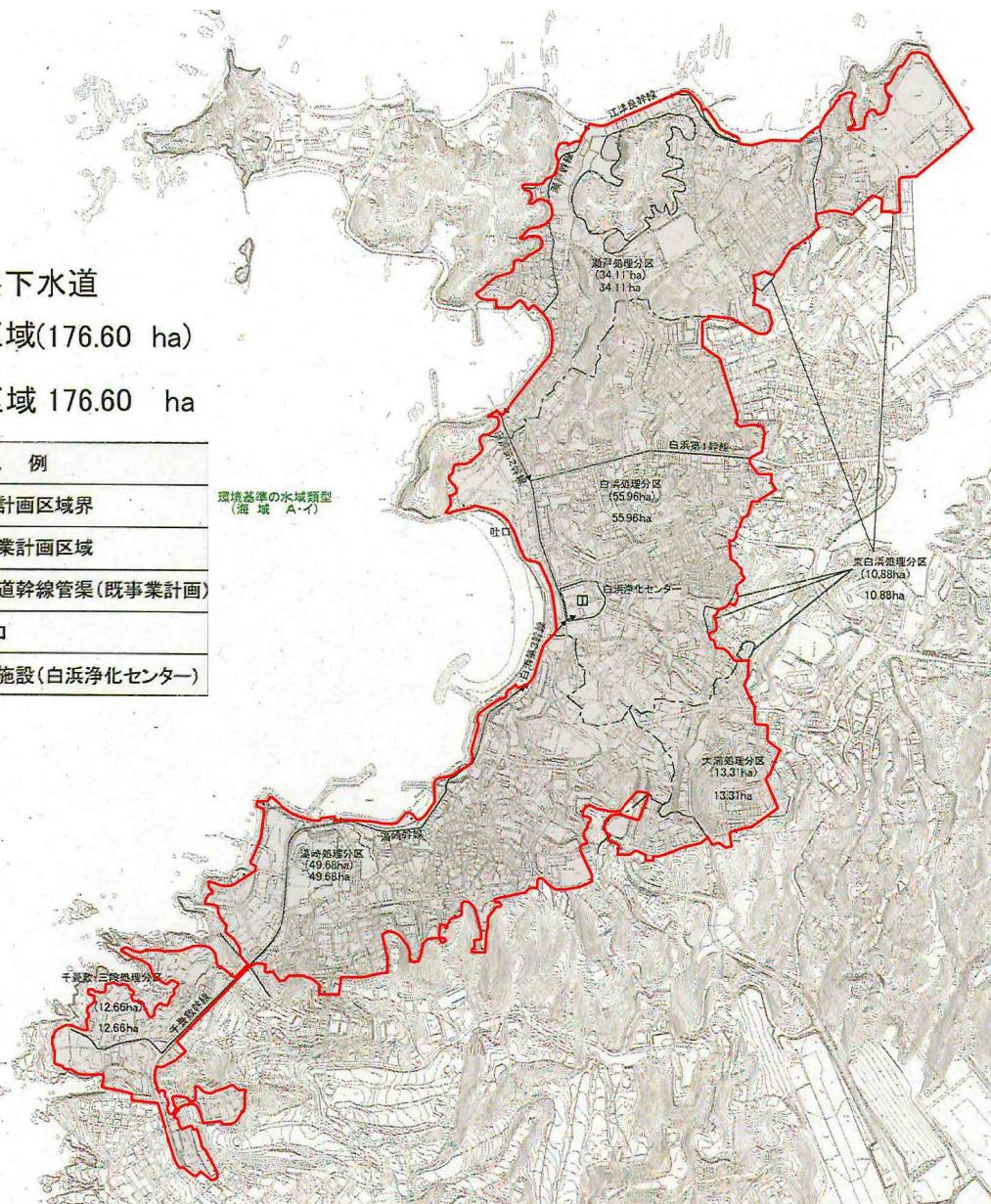
資料：令和元年度都市計画基礎調査を基に作成

■下水道の状況

白浜町公共下水道
 全体計画区域(176.60 ha)
 事業計画区域 176.60 ha

凡 例	
-----	全体計画区域界
	既事業計画区域
→	下水道幹線管渠(既事業計画)
-----<	吐 口
□	処理施設(白浜浄化センター)

環境基準の水域類型
(海域 A・I)



資料:庁内資料

④市街地開発事業

市街地開発事業については、土地区画整理事業が1地区で施行済みです。

■土地区画整理事業の状況

都市計画 区域名	地区名称	都市計画決定		事業決定		施行中		施行済	
		地区数	面積(ha)	地区数	面積(ha)	地区数	面積(ha)	地区数	面積(ha)
白浜	東白浜	1	15.5	1	15.5	0	0.0	1	15.5

令和3年3月31日現在

資料:都市計画現況調査(令和3年)

(6) 主要施策の状況

前回の計画策定時に、目指すまちの将来像を実現するため、できるだけ早期に重点的に取り組むべき都市計画としての施策を整理しています。

①土地利用に関して重点的に展開する施策

対象	展開する施策	進捗状況
○千畳敷・三段壁周辺地 (白浜地域)	用途地域・地区計画 区域の検討	○実施中／継続：来年度以降、用途 地域等の変更を検討
○阪田公園周辺 (白浜地域)	用途地域・風致地区 の検討	○実施中／継続：来年度以降、用途 地域等の変更を検討
○古賀浦地区 (白浜地域)	地区計画区域の検討	○実施中／継続：来年度以降、用途 地域等の変更を検討
○平草原周辺 (白浜地域)	用途地域の検討	○実施中／継続：来年度以降、用途 地域等の変更を検討
○全域	企業誘致拠点の検討	○実施中／継続： ・南紀白浜空港にビジネス拠点を整 備（ワーケーションやIT企業の 誘致） ・平草原公園内に、白浜町第2IT ビジネスオフィスを平成30年 6月に新築

②都市施設に関して重点的に展開する施策

対象	展開する施策	進捗状況
○都市計画道路網	都市計画道路網の見 直し	○完了／終了
○都市計画道路 白浜空港フラワ ーライン線	都市計画道路の整備	○完了／終了
○南紀白浜インターチェンジ（I C）へのアクセス道路 (白浜地域、西富田地域、 富田・椿地域)		○完了／終了
○日置川インターチェンジ（IC） へのアクセス道路 (日置川地域)	都市計画道路の整備	○完了／終了
○阪田公園周辺 (白浜地域)	都市計画公園の検討	○実施中／継続：検討中

2 アンケート調査の概況

(1) 調査概要

- 調査対象 白浜町在住の16歳以上の住民2,000人
(住民基本台帳から地域ごとの人口比率に応じた数を無作為抽出)
- 調査時期 令和3年12月
- 調査方法 郵送による配布・回収
- 配布数 2,000部
- 回収数・回収率 871部 43.6%
- 調査項目
 - ・回答者の属性(性別、年齢、職業、居住地域、居住年数、家族構成、出身地)
 - ・今後の居住予定について
 - ・白浜町の全体像について
 - ・お住まいの地域の将来イメージについて
 - ・土地の利用について
 - ・都市施設の整備について
 - ・地域の資源を活かした観光まちづくりについて
 - ・景観について
 - ・まちづくりへの住民参加について
 - ・自由意見

(2) 調査結果の概要

①住民アンケート結果（主な属性）

アンケートに回答いただいた方の主な属性は以下のとおりです。

性別では、「男性」が394件（45.2%）で、「女性」が470件（54.0%）となっています。

年齢は、「70歳代」が最も多く、232件（26.6%）を占め、「60歳代」が162件（18.6%）、「80歳以上」が130件（14.9%）と続きます。

職業は、「無職（年金生活者を含む）」が最も多く、351件（40.3%）を占め、「会社員・公務員」が206件（23.6%）、「アルバイト・パート」が109件（12.5%）と続きます。

居住地域は、「白浜地域」283件（32.5%）、「西富田地域」253件（29.1%）、「富田・椿地域」198件（22.7%）、「日置川地域」123件（14.1%）となっています。

出身地は、「町内」が最も多く、422件（48.5%）を占め、「町外（和歌山県内）」が257件（29.5%）、「町外（和歌山県外）」が182件（20.9%）と続きます。

属性	項目	回答数	割合
性別	男性	394 件	45.2 %
	女性	470 件	54.0 %
	不明	7 件	0.8 %
年齢	19歳以下	17 件	2.0 %
	20歳代	42 件	4.8 %
	30歳代	62 件	7.1 %
	40歳代	110 件	12.6 %
	50歳代	111 件	12.8 %
	60歳代	162 件	18.6 %
	70歳代	232 件	26.6 %
	80歳以上	130 件	14.9 %
	不明	5 件	0.6 %
職業	農林水産業	16 件	1.8 %
	自営業(商工業・サービス業)	67 件	7.7 %
	会社員・公務員	206 件	23.6 %
	アルバイト・パート	109 件	12.5 %
	家事専業	61 件	7.0 %
	学生	24 件	2.8 %
	無職(年金生活者を含む)	351 件	40.3 %
	その他	26 件	3.0 %
	不明	11 件	1.3 %
地域	白浜地域	283 件	32.5 %
	西富田地域	253 件	29.1 %
	富田・椿地域	198 件	22.7 %
	日置川地域	123 件	14.1 %
	不明	14 件	1.6 %
出身地	町内	422 件	48.5 %
	町外(和歌山県内)	257 件	29.5 %
	町外(和歌山県外)	182 件	20.9 %
	不明	10 件	1.1 %

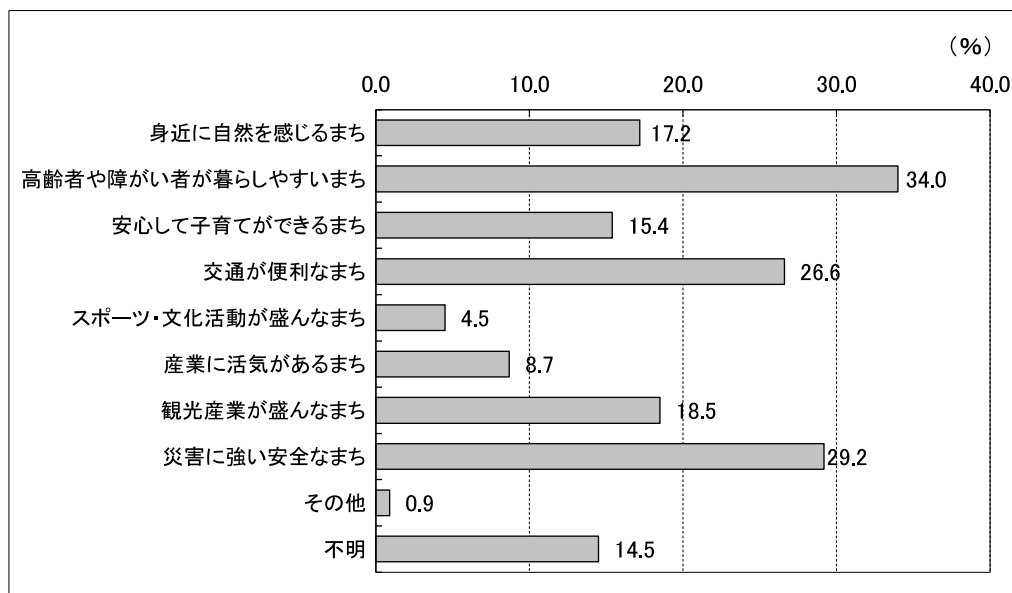
②住民アンケート結果（意向の要旨）

項目		意識・意向
居住意向	今後の居住予定	○7割以上の方が今後も町内に住み続けることを望まれています。
	住み続けたい理由	○「自然環境が良いから」が約4割、「先祖からの土地だから」が3割強を占めています。
	住み続けたくない理由	○「日常生活に不便だから」が4割を超えています。
白浜町の将来像	イメージ	○「高齢者や障がい者が暮らしやすいまち」が3割強を、「災害に強い安全なまち」が3割弱を占め、拮抗しています。
地域の将来像	イメージ	○「一戸建ての住宅を中心とした静かな住宅地」が最も多くなっています。
	特に望むこと	○「公共交通（鉄道・バス等）の充実」「防火・防災対策」「自然環境や景観の保全」の順で要望が高くなっています。
土地の利用	まちづくりの方向性	○「災害の危険性が少ない地域を中心にしたまちづくりを行う」が4割弱、「今ある都市施設を活かした、効率的なまちづくりを行う」が約3割となっています。
	総合的な土地利用方法	○「計画的な土地利用は、市街地、農漁村部、山林部など町域全体で考えるべきであり、町域全体の土地利用の誘導・制限を考える必要がある」が望まれています。
	今後の住宅地開発	○「わからない」が最も多く、3割弱を占め、「今のままで、新たに住宅地を開発しない」が続いています。
	今後の商業系土地利用	○「観光旅館・ホテル、土産物店、飲食店などの商業を活性化させる」ことが望まれています。
	今後の工業系土地利用	○「新しい企業が立地しやすい工業用地を整備する」ことが望まれています。
	今後の農地	○「優良農地は保全し、小規模農地や耕作放棄地は、町民が利用できる農園や体験学習の場等に活用する」ことが望まれています。
	今後の山林・森林	○「災害防止や水源地、生き物の生息の場等として、健全な森林づくりのための整備・保全を進める」ことが7割近くを占めています。

項目		意識・意向
都市施設	道路整備や交通のあり方	<p>○白浜町全域：「歩行者や自転車の安全な通行のための道路整備（歩道の設置等）」が望まれています。</p> <p>○白浜地域：「夜間の犯罪や事故を防ぐための防犯灯・街灯の整備」が望まれています。</p> <p>○西富田地域：「歩行者や自転車の安全な通行のための道路整備（歩道の設置等）」が望まれています。</p> <p>○富田・椿地域：「夜間の犯罪や事故を防ぐための防犯灯・街灯の整備」が望まれています。</p> <p>○日置川地域：「夜間の犯罪や事故を防ぐための防犯灯・街灯の整備」が望まれています。</p>
	公園・緑地の整備	<p>○白浜町全域：「災害時に避難できる大きな公園の整備」が望まれています。</p> <p>○白浜地域：「日常の憩いのための身近な広場や公園の整備」が望まれています。</p> <p>○西富田地域：「災害時に避難できる大きな公園の整備」が望まれています。</p> <p>○富田・椿地域：「災害時に避難できる大きな公園の整備」が望まれています。</p> <p>○日置川地域：「災害時に避難できる大きな公園の整備」が望まれています。</p>
	その他の都市施設	<p>○白浜町全域：「スポーツ・レクリエーション施設」が望まれています。</p> <p>○白浜地域：「図書館・児童文学」が望まれています。</p> <p>○西富田地域：「図書館・児童文学」が望まれています。</p> <p>○富田・椿地域：「診療所・病院」が望まれています。</p> <p>○日置川地域：「診療所・病院」が望まれています。</p>
災害に強いまちづくり		○「避難地・避難路の整備」が5割を超えています。

項目		意識・意向
観光まちづくり	観光資源	○「自然（海・海岸）」「温泉」がともに8割を超えています。
	取り組み	○「自然環境を活かした施設の整備や活動」が約5割を、「駅周辺など交通拠点の整備」が5割弱を占め、拮抗しています。
	観光客の来訪	○「来てほしい」が4割を、「来てほしくない」が3割をそれぞれ超えています。
	どの地域からの来訪に期待	○「和歌山県外」が7割を超えています。
	来てほしくない理由	○「町が汚れること（ゴミのポイ捨て等）に不安を感じる」が2割を超えています。
景観に対する取り組み		○「森林や丘、海辺の風景等の自然景観を残す」が6割近くを占めています。
まちづくりへの住民参加	コミュニティ活動への参加	○「特に参加していない」が5割を超えています。参加のなかでは、「清掃・美化活動に参加」が2割を超えています。
	今後のまちづくりへの参加	○「できれば参加したい」「アンケート等であれば参加したい」がそれぞれ2割を超えています。

■白浜町の将来像（イメージ）の意向



3 まちづくりの課題

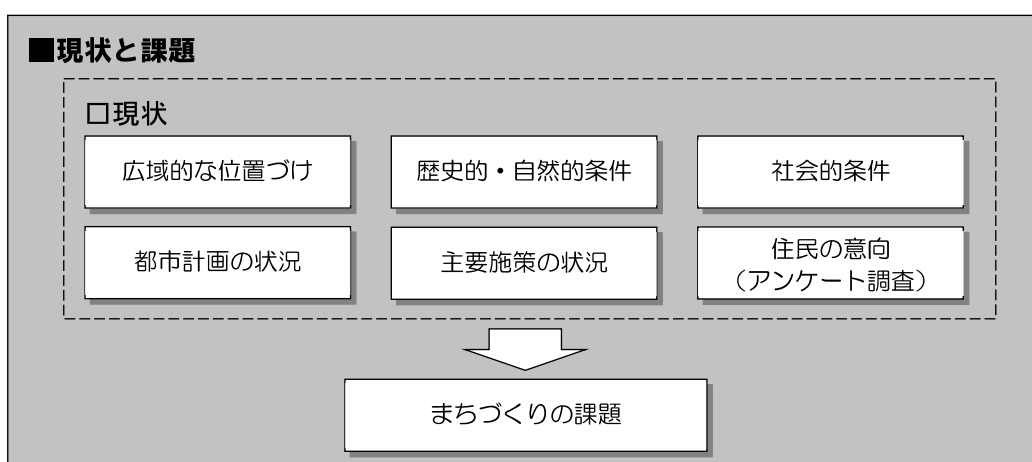
(1) まちづくりの課題の考え方

我が国では、人口減少・少子高齢化の進行、モータリゼーションの進展、産業構造の転換、多発する自然災害、環境問題、厳しい財政的制約、公共施設（インフラ）の老朽化と更新の集中、都市のスポンジ化・低密度化による空き家・空き地等の未利用地の増加、新型コロナウイルス感染症によるテレワーク等の生活様式の変化など、都市をめぐる社会経済状況は大きく変化してきています。

こうした社会経済情勢の変化に対して、白浜町の目指す魅力的な都市づくりをさらに展開すべく、住民の理解と参加のもと関係部局と連携しながらまちづくりを進める必要があります。

白浜町のまちづくりの課題設定にあたっては、町を取り巻く様々な視点から重要な課題を抽出・設定していきます。

具体的には、これまでに整理してきた、広域的な位置づけ、歴史的・自然的条件、社会的条件、都市計画の状況、主要施策の状況、そして、住民意向（アンケート調査）を踏まえ、まちづくりの課題として整理します。



(2) まちづくりの課題

①まちづくりの課題

項目	まちの現況	住民意向	まちづくりの課題
位置・沿革	<ul style="list-style-type: none"> ○西牟婁郡に属し、紀南地域の中心都市・田辺市に隣接 ○平成18年に旧白浜町と旧日置川町が合併し、誕生 		<ul style="list-style-type: none"> ○田辺市等と連携した広域的なまちづくり ○各地域の連携強化と地域特性の活用
地形・自然災害等	<ul style="list-style-type: none"> ○半島地域に位置し、富田川と日置川、それぞれの流域に分かれている ○町の8割以上が森林 ○過去に、富田川と日置川沿岸地域を中心に水害による被害 ○用途地域内に、土砂災害特別警戒区域等の指定 	<ul style="list-style-type: none"> ○「災害に強い安全なまち」を望む ○「防火・防災対策」を望む ○災害に対する取り組みとして、「狭い道路の整備・解消」「避難地・避難路の整備」を望む 	<ul style="list-style-type: none"> ○豊かな自然環境・自然景観の保全 ○ハード及びソフト両面からの防災対策
人口・世帯	<ul style="list-style-type: none"> ○人口減少・少子高齢化が進むと予測 ○高齢化率が50%近くになると予測 ○田辺市との結びつきが強い 	<ul style="list-style-type: none"> ○7割以上が今後も住み続けることを望む ○「高齢者や障がい者が暮らしやすいまち」「災害に強い安全なまち」を望む 	<ul style="list-style-type: none"> ○人口減少に対応した持続可能なまちづくり ○少子高齢化に対応した多様なまちづくり ○すべての人が生活しやすいまちづくり
産業	<ul style="list-style-type: none"> ○就業率の微減 ○7割を超える第3次産業従事者 ○商業：事業所数、従業者数、年間商品販売額とも微減 ○工業：事業所数、従業者数、製造品出荷額等とも微減 ○農業：農家数の減少 ○水産業：水産物陸揚量の大半を堅田漁港が占める ○観光：温泉を中心とした宿泊客 ○地域資源：白浜温泉、千畳敷や三段壁などの自然景観、海水浴場、テーマパークなど 	<ul style="list-style-type: none"> ○観光資源：「自然(海・海岸)」「温泉」 ○「自然環境を活かした施設の整備や活動」「駅周辺などの交通拠点の整備」が重要 	<ul style="list-style-type: none"> ○自然環境や地域資源を活かしたまちづくり ○玄関口となる駅周辺の整備 ○日常生活の利便性の向上 ○観光客の受け入れ態勢の整備
道路・交通	<ul style="list-style-type: none"> ○南北に紀勢自動車道、国道42号が走る ○紀勢自動車道に平行して、JR紀勢本線が走る ○路線バスとコミュニティバスにより公共交通網を形成 	<ul style="list-style-type: none"> ○町全域：安全な通行のための道路整備を望む ○白浜、富田・椿、日置川地域：防犯灯・街灯の整備を望む ○西富田地域：安全な通行のための道路整備を望む 	<ul style="list-style-type: none"> ○幹線道路等の整備・充実 ○公共交通機関の維持・充実 ○地域の実情に応じた道路整備 ○防犯灯や街灯などの整備
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ○白浜地域を中心に宅地化 ○農地は富田川と日置川沿いに広がっているが、平地が少なく、8割が森林におおわれている ○白浜地域の役場周辺と堅田地区で、新築が進む ○空き家・空きホテル等の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ○観光旅館・ホテル、土産物店、飲食店など商業の活性化を望む ○新しい企業が立地しやすい工業地の整備を望む ○耕作放棄地などは、町民が利用できる農園や体験学習の場への活用を望む 	<ul style="list-style-type: none"> ○適正な土地利用規制 ○地域の活性化に向けた有効な土地利用の推進 ○優良農地や森林などの保全と活用
都市計画・都市施設	<ul style="list-style-type: none"> ○2つの都市計画区域と準都市計画区域 ○用途地域(白浜)、特定用途制限地域(白浜、白浜準)、特別用途地区(白浜)の指定 ○都市計画道路：白浜区域、日置川区域で改良+概成率が高い ○都市計画公園：県平均より低い供用率 	<ul style="list-style-type: none"> ○町全域：「災害時に避難できる大きな公園の整備」を望む ○白浜地域：「日常の憩いのための身近な広場や公園の整備」を望む ○西富田、富田・椿、日置川地域：「災害時に避難できる大きな公園の整備」を望む ○町全域：「スポーツ・レクリエーション施設」を望む ○白浜、西富田地域：「図書館・児童文学」を望む ○富田・椿、日置川地域：「診療所・病院」を望む 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画的な都市施設の整備・充実 ○地域の実情に応じた既存公共施設等の有効活用
住民参加		<ul style="list-style-type: none"> ○「特に参加していない」が過半数 	<ul style="list-style-type: none"> ○まちづくりへ参加する機会の創出

②まちづくりの課題の分類と整理

町行政には、そこで生活する住民の暮らしやすさの向上に努めることが第一に求められているといえます。一方、白浜町の基幹産業は観光であり、まちを訪れる観光客へのもてなしの気持ちを含めたまちづくりも重要です。このため、「生活」や「交流」という視点を持ちながら、項目ごとにまちづくりの課題を分類し整理しました。

■まちづくりの課題の分類と整理

